

第2次湯沢市地域公共交通網形成計画

令和2年2月

湯 沢 市

目次

1. 計画策定の目的と関連計画	
1-1 計画策定の目的	1
1-2 計画の区域	1
1-3 計画の期間と管理	1
1-4 各種計画との関連	1
2. 市内公共交通の現状と課題	
2-1 市内公共交通の概略	2
2-2 鉄道	4
2-3 バス交通	5
2-4 乗合タクシー	8
2-5 コミュニティバス	13
3. 湯沢市地域公共交通網形成計画の検証	
3-1 第1次計画の検証について	14
3-2 重点施策の取組状況	20
3-3 検証の総括	22
4. 第2次湯沢市地域公共交通網形成計画	
4-1 第2次計画の方針	23
4-2 計画の内容	24
5. 資料 アンケート結果	
5-1 日常の移動と地域の公共交通に関する調査	32
5-2 乗合タクシー利用者アンケート	53

1. 計画策定の目的と関連計画

1-1 計画策定の目的

本市では、平成28年1月に平成27年度から令和元年度までの5年間の計画である「湯沢市地域公共交通網形成計画」（以下「第1次計画」という。）を策定して“みんなで育てる、安全で快適な地域公共交通”を目指し、地域の実態に適した利用しやすい公共交通体系の構築に取り組んできました。

第1次計画では、バス路線の再編や乗合タクシーの運行経路の拡充などに取り組み、利便性の向上に努めましたが、利用者の減少が進行しており、効果的な情報発信による利用促進が必要です。

第1次計画に引き続き、持続可能な地域公共交通の実現に向け、利便性の向上や利用促進を図るとともに、公共交通を日常の生活を支える移動手段とするため、第2次湯沢市地域公共交通網形成計画（以下「第2次計画」という。）を策定します。

1-2 計画の区域

第2次計画が適用される区域は、生活路線を軸に市民の日常生活に関して形成される交通圏を基本とし、湯沢市内全域とします。

ただし、隣接市町村を中心とした買物や通学、通院の移動にも対応できるよう、現行の路線に加えて広域的な公共交通網の維持に努めます。

1-3 計画の期間と管理

第2次計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

ただし、第2次計画の期間内においても、社会情勢や住民のニーズなどの変化に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

なお、事業の実施状況や各目標の達成状況、実施過程などの検証や見直しを年度ごとに実施し、PDCAサイクルを活用しながら、状況に合わせて取組内容を検討するとともに、計画の実行性を確保します。

1-4 各種計画との関連

市政運営の基本指針となる「第2次湯沢市総合振興計画（H29～R8）」においては、『人のつながりで磨かれる、熱（エネルギー）あふれる美しいまち』を将来像として掲げ、5つのまちづくりの基本目標を設定しています。

このうち、「豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち」の基本目標において、「まちの動脈となる交通体系の整備と利用促進」の施策の中で、持続可能な公共交通ネットワークの構築と利用促進を図るとともに、「交通安全対策の充実」の施策の中で、高齢者の交通安全対策を推進することとしています。

また、立地適正化計画や湯沢市集中改革プランなど、関連する各種計画との整合性を図り、一体的に取り組めます。

2. 市内公共交通の現状と課題

2-1 市内公共交通の概略

市の南北を J R 奥羽本線と東北中央自動車道および国道13号が縦断し、東西には国道108号と398号が交通基盤を形成しています。

交通機関	内訳
鉄道	J R 奥羽本線 ①下湯沢駅 ②湯沢駅 ③上湯沢駅 ④三関駅 ⑤横堀駅 ⑥院内駅
路線バス	羽後交通(株) ①湯沢小安線 ②横堀線 ③山田線 ④雄湯郷ランド循環線 ⑤湯沢横手線 ⑥岩井川線 ⑦西馬音内線 ⑧横手小安線
コミュニティバス	①大門線
乗合タクシー	(定期路線) ①湯沢沼館線 ②弁天線 (予約制路線) ①切畑線 ②石塚線 ③泥湯線 ④泥湯線 (雄勝中央病院線) ⑤岩城線 ⑥三ツ村線 ⑦東山線 ⑧秋ノ宮線 ⑨院内線 ⑩藤倉線 ⑪湯ノ沢線 ⑫若畑線 ⑬沖ノ沢線
タクシー	4 事業者 ①湯沢タクシー (車両 37 台) ②新生タクシー (車両 10 台) ③仙秋タクシー (車両 4 台) ④小安タクシー (車両 2 台)
福祉タクシー	2 事業者 ①湯沢タクシー (車両 5 台) ②新生タクシー (車両 1 台)
福祉有償運送	2 事業者 ①雄勝なごみ会 ②みなせ福祉会

2-2 鉄道

鉄道はJR奥羽本線が南北を縦断し、湯沢駅ほか5駅が設置されています。

利用者が減少している中、利用主体である高校生の通学ダイヤの確保など、安心して通学できる環境整備が必要です。

また、駅周辺の環境整備により、路線バスや乗合タクシーなどとの結節機能の強化と利便性の向上を図っています。

■鉄道の交通サービスの状況

市内駅数	1日の運行本数	内訳
6駅 ・下湯沢駅 ・湯沢駅 ・上湯沢駅 ・三関駅 ・横堀駅 ・院内駅	下り ・湯沢駅発16本	列車の種類 ・快速列車1本 ・普通列車15本 下り便の内訳 ・新庄駅発9本 ・院内駅発2本 ・湯沢駅発5本
	上り ・湯沢駅着17本	列車の種類 ・普通列車17本 上り便の内訳 ・湯沢駅止6本 ・院内駅止2本 ・新庄駅止9本

■市内主要駅の平均乗車人員(1日平均:人)

駅名	年度						増減率 H30/H25 (%)
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
湯沢駅	736	705	705	675	652	631	△14.3%
	(482)	(454)	(455)	(439)	(426)	(401)	△16.8%
横堀駅	240	212	189	153	135	120	△50.0%
	(194)	(168)	(149)	(115)	(102)	(89)	△54.1%

※降車人員は含まず、乗車人員を把握できる駅のみ掲載。()内は定期利用者数。

出典：JR東日本ホームページ

2-3 バス交通

路線バスは羽後交通(株)により 8 路線が運行されています。このうち湯沢市内のみ運行する路線として 4 路線、隣接市町村を結ぶ路線として 4 路線となっています。

事業者は経費削減や路線の集約などの経営改善を行っているものの、利用者の減少に歯止めが掛かっていません。

市では国や県と共に財政負担をして路線の維持に努めていますが、市負担額の増加への対応が課題です。

■路線バスの交通サービスの状況

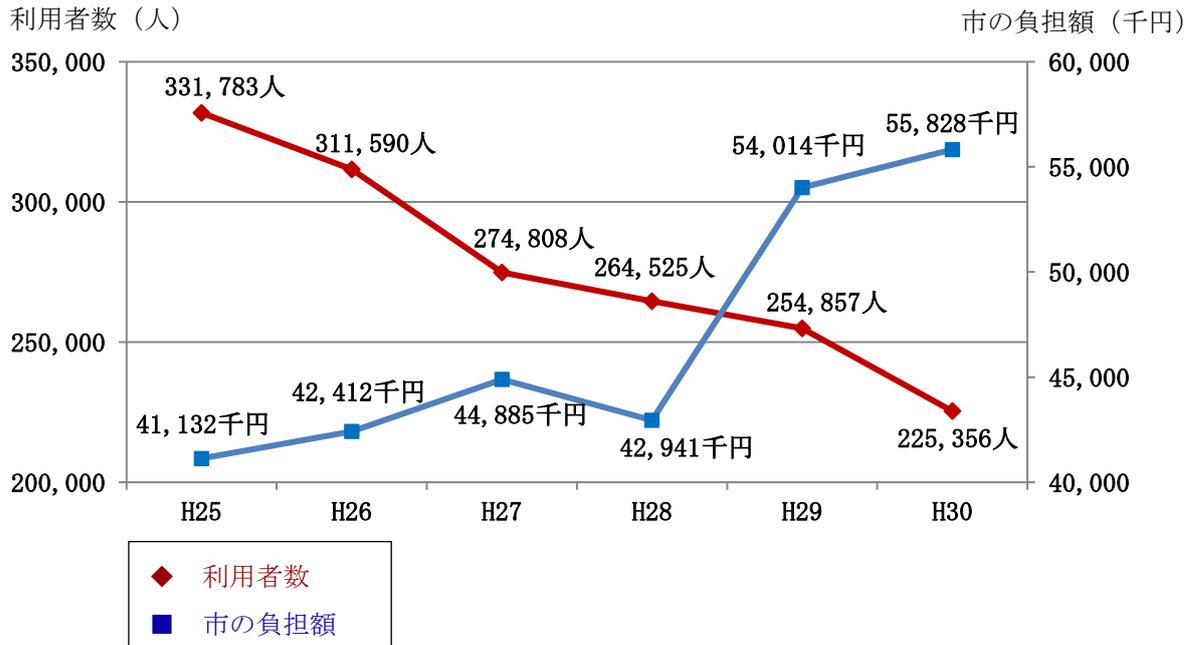
路線名	運行ルート	1日の運行本数		内訳	1便あたりの運行キロ数	
		往路	復路			
市内路線	湯沢小安線	雄勝中央病院 ～ 小安温泉	9	9	羽後交通(株)湯沢営業所、皆瀬庁舎、湯沢高校発着便あり	24.5km
	横堀線	雄勝中央病院 ～ 横堀駅前	7	7	羽後交通(株)湯沢営業所発着便あり	19.5km
	山田線	羽後交通(株)湯沢営業所 ～ 雄勝中央病院	7	9	湯沢駅前、愛宕町発着便あり	13.4km
	雄湯郷ランド循環線	羽後交通(株)湯沢営業所 ～ 羽後交通(株)湯沢営業所 経由地：湯沢駅、雄勝中央病院、イオンSC、愛宕町など	5	5	羽後交通(株)湯沢営業所を起終点とし、両回り運行(左回り、右回り)	18.1km
広域路線	湯沢横手線	羽後交通(株)湯沢営業所 ～ 平鹿総合病院	13	13	草の台発着便あり	22.7km
	岩井川線	雄勝中央病院 ～ 草の台	7	7	羽後交通(株)湯沢営業所、平鹿総合病院、入道、椿川発着便あり	47.9km
	西馬音内線	雄勝中央病院 ～ 堀回	9	9	羽後交通(株)湯沢営業所発着便あり トロ橋、湯沢翔北高校、羽後高校経由便あり	20.0km
	横手小安線	平鹿総合病院 ～ 稲庭	7	7	横手高校、皆瀬発着便あり	30.5km

■バス路線ごとの利用者数(人)

路線名	年度						増減率 H30/H25 (%)	
	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
市内路線	湯沢小安線	60,139	56,862	51,047	48,622	43,944	38,876	△35.4%
	横堀線	25,387	24,300	21,586	22,606	21,456	17,074	△32.7%
	山田線*	24,909	24,509	21,546	11,316	1,407	731	△21.3%
	シャトルバス*	12,898	11,282	10,007	4,456	H28から雄湯郷ランド循環線として運行開始		
	雄湯郷ランド循環線*	H28から運行開始 (シャトルバスと山田線の一部を統合)			14,727	29,653	29,006	
	市内路線 計	123,333	116,953	104,186	101,727	96,460	85,687	△30.5%
広域路線	湯沢横手線	49,972	49,474	41,641	39,868	38,530	34,619	△30.7%
	岩井川線	46,395	44,906	43,949	45,482	46,227	39,474	△14.9%
	西馬音内線	29,918	28,910	29,113	26,643	26,569	24,655	△17.6%
	横手小安線	82,165	71,347	55,919	50,805	47,071	40,921	△50.2%
	広域路線 計	208,450	194,637	170,622	162,798	158,397	139,669	△33.0%
合計	331,783	311,590	274,808	264,525	254,857	225,356	△32.1%	

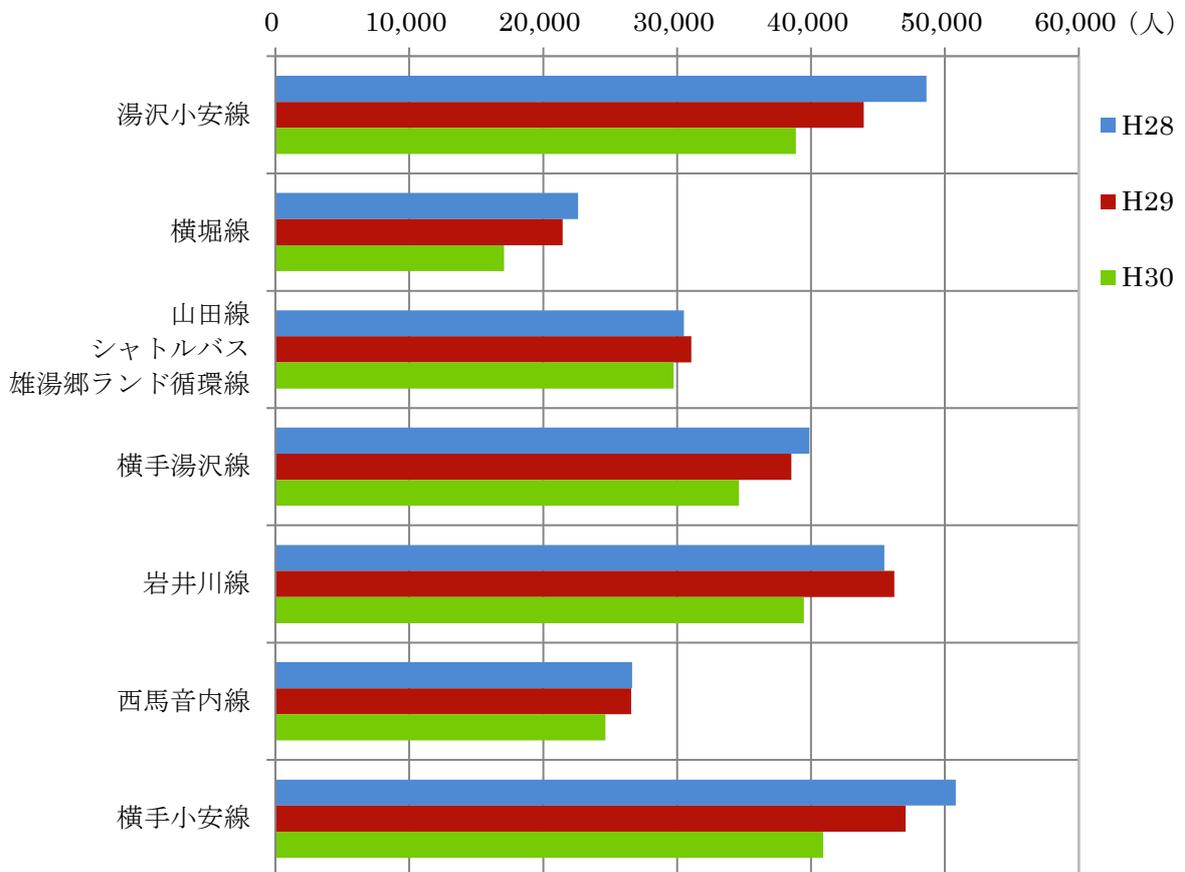
※平成28年度からシャトルバスと山田線の一部を統合し、雄湯郷ランド循環線として運行しています。

■路線バスの利用者数と市の負担額



- ・市の負担額の減少の要因 (H27～H28)
平成 27 年度まで補助対象となっていた湯沢横手線が対象外となった
- ・市の負担額の増加の要因 (H28～H29)
平成 28 年度に運行を開始した雄湯郷ランド循環線の負担額の増加

■バス路線ごとの利用者数の推移(3ケ年)



2-4 乗合タクシー

路線バスが廃止・縮小された地区や交通空白地区に対して代替交通として乗合タクシーの定期運行2路線、予約制運行13路線を導入しています。

利用者数が増加している路線がある一方で、経路が重複している箇所や年間を通じてほとんど利用のない路線・便があるなどバラつきが見られることから、住民のニーズに合わせた運行の見直しが必要です。

また、運行経費や利用者負担の適正化など、市負担額の増加への対応が課題です。

■乗合タクシーの交通サービスの状況

路線名	運行ルート	1日の運行本数		1便あたりの運行キロ数	
		往路	復路		
定期路線	湯沢沼館線	羽後交通(株)湯沢営業所 ～ 沼館	3	3	19.2km
	弁天線	羽後交通(株)湯沢営業所 ～ 上八幡	3	4	9.6km
予約制路線	切畑線	水沢 ～ 雄勝調剤薬局	5	5	6.5km
	石塚線	岩ノ沢三叉路 ～ 雄勝調剤薬局	5	5	6.6km
	泥湯線	泥湯温泉 ～ 須川停留所	4	2	22.7km
	泥湯線 (雄勝中央病院線)	泥湯温泉 ～ 雄勝調剤薬局	1	4	32.7km
	岩城線	稲川庁舎前停留所 ～ 緑風荘	7	7	17.7km
	三ツ村線	三ツ村会館 ～ 横堀駅	5	5	7.5km
	東山線	東山森林公園入口 ～ 横堀駅	5	5	5.7km
	秋ノ宮線	畑 ～ 横堀駅	6	9	21.4km
	院内線	松根児童館 ～ 横堀駅、八丁 ～ 横堀駅、 南沢 ～ 横堀駅、山ノ田児童館 ～ 横堀駅	6	7	9.9km
	藤倉線	藤倉健康増進施設 ～ 皆瀬総合支所	4	5	3.3km
	湯ノ沢線	新湯ノ沢橋 ～ 皆瀬総合支所	4	5	9.4km
	若畑線	若畑カプト館 ～ 皆瀬総合支所	4	5	9.2km
沖ノ沢線	沖ノ沢公民館 ～ 皆瀬総合支所	4	5	12.9km	

■乗合タクシーの利用登録者数(人)

登録者数	年度						増減率 H30/H25 (%)
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
総登録者数	2,391	2,481	2,546	2,601	2,666	2,743	14.7%
新規登録者数	159	90	65	55	65	77	△51.6%

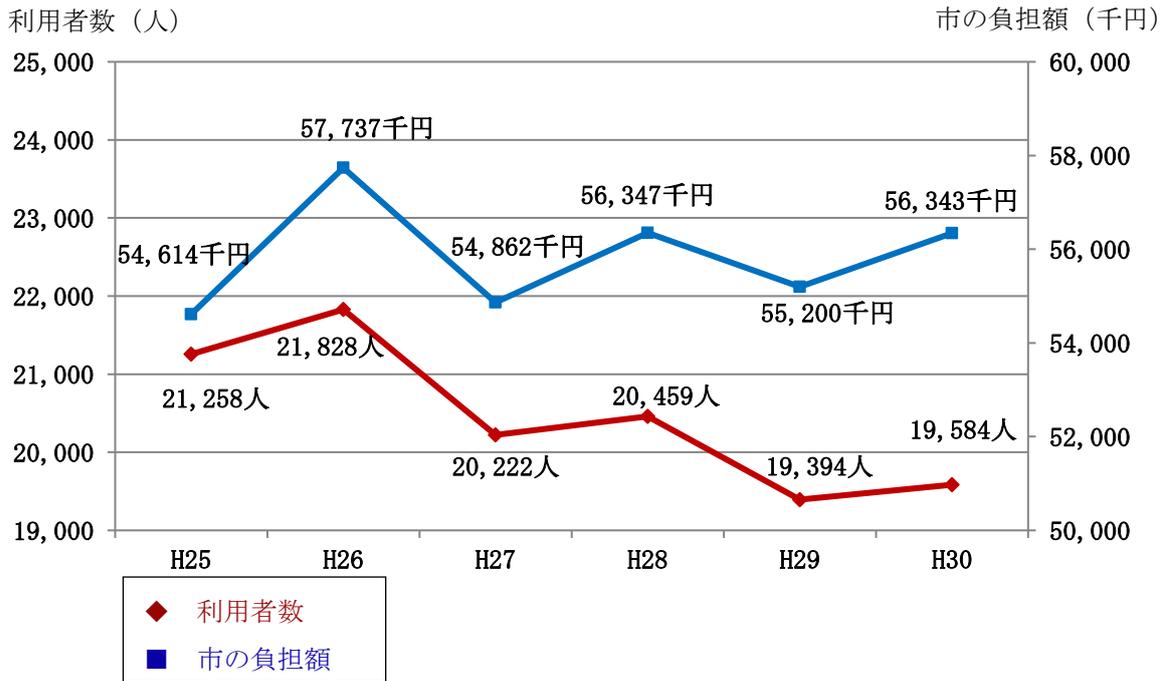
■乗合タクシーの路線ごとの利用者数(人)

路線名		年度						増減率 H30/H25 (%)
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	
定期路線	湯沢沼館線	2,064	1,790	1,932	1,864	1,925	1,958	△5.1%
	弁天線	2,667	2,835	2,540	2,038	1,766	1,636	△38.7%
	酒蒔線	416	311	299	H28から泥湯（雄勝中央病院線）と統合			—
	定期路線 計	5,147	4,936	4,771	3,902	3,691	3,594	△30.2%
予約制路線	切畑線	1,833	1,957	1,527	1,518	1,239	1,227	△33.1%
	石塚線	1,759	1,538	1,449	1,453	1,417	1,482	△15.7%
	泥湯線	532	509	532	474	407	382	△28.2%
	泥湯線 （雄勝中央病院線）	2,031	2,005	2,050	1,999	1,535	1,615	△20.5%
	岩城線	632	765	568	997	1,067	1,241	96.4%
	三ツ村線	530	615	645	1,095	1,101	1,054	98.9%
	東山線	57	70	69	76	107	65	14.0%
	秋ノ宮線	5,911	6,283	5,832	6,334	6,153	5,499	△7.0%
	院内線	2,658	3,044	2,576	2,445	2,521	3,288	23.7%
	藤倉線	85	72	71	102	101	57	△32.9%
	湯ノ沢線	78	34	132	64	55	80	2.6%
	若畑線	5	0	0	0	0	0	皆減
	沖ノ沢線	0	0	0	0	0	0	—
予約制路線 計	16,111	16,892	15,451	16,557	15,703	15,990	△0.8%	
合計	21,258	21,828	20,222	20,459	19,394	19,584	△7.9%	

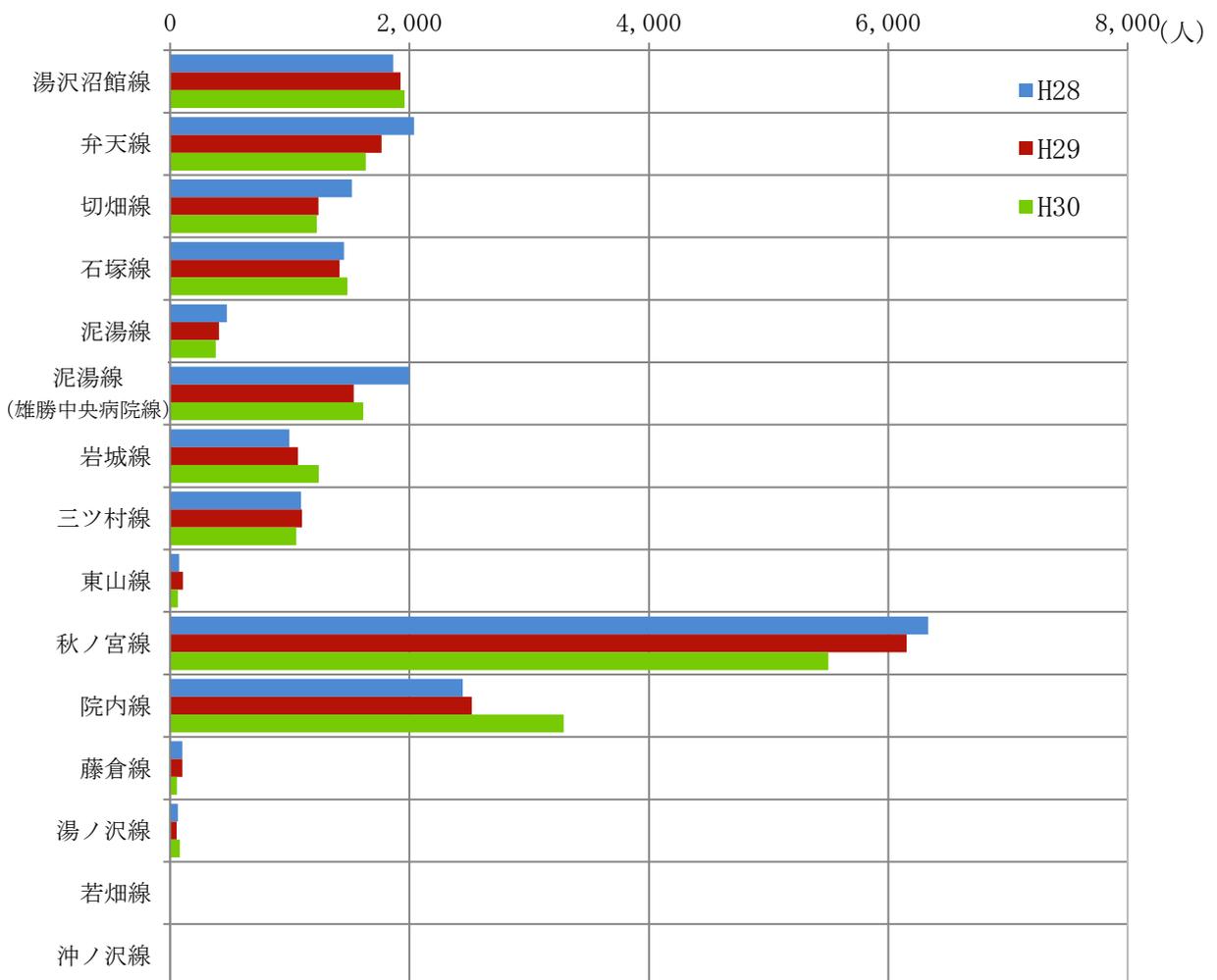
■乗合タクシーの路線ごとの市の負担金(円)

路線名	年度			増減率 H30/H28 (%)	
	H28	H29	H30		
定期路線	湯沢沼館線	2,013,535	2,104,114	2,097,960	4.2%
	弁天線	3,271,753	3,303,445	3,320,253	1.5%
	定期路線 計	5,285,288	5,407,559	5,418,213	2.5%
予約制路線	切畑線	2,083,382	1,797,178	1,791,646	△14.0%
	石塚線	2,047,442	2,070,212	2,113,102	3.2%
	泥湯線	2,763,964	2,528,736	2,153,178	△22.1%
	泥湯線 (雄勝中央病院線)	10,269,490	8,727,660	9,714,670	△5.4%
	岩城線	4,035,240	4,760,880	5,255,970	30.3%
	三ツ村線	1,814,300	1,708,000	1,664,900	△8.2%
	東山線	136,432	205,030	125,184	△8.2%
	秋ノ宮線	22,340,962	22,346,196	21,012,780	△5.9%
	院内線	5,105,532	5,287,070	6,672,564	30.7%
	藤倉線	119,342	115,080	71,628	△40.0%
	湯ノ沢線	296,000	246,540	349,420	18.0%
	若畑線	25,184	0	0	皆減
	沖ノ沢線	25,184	0	0	皆減
	予約制路線 計	51,062,454	49,792,582	50,925,042	△0.3%
合計	56,347,742	55,200,141	56,343,255	0.0%	

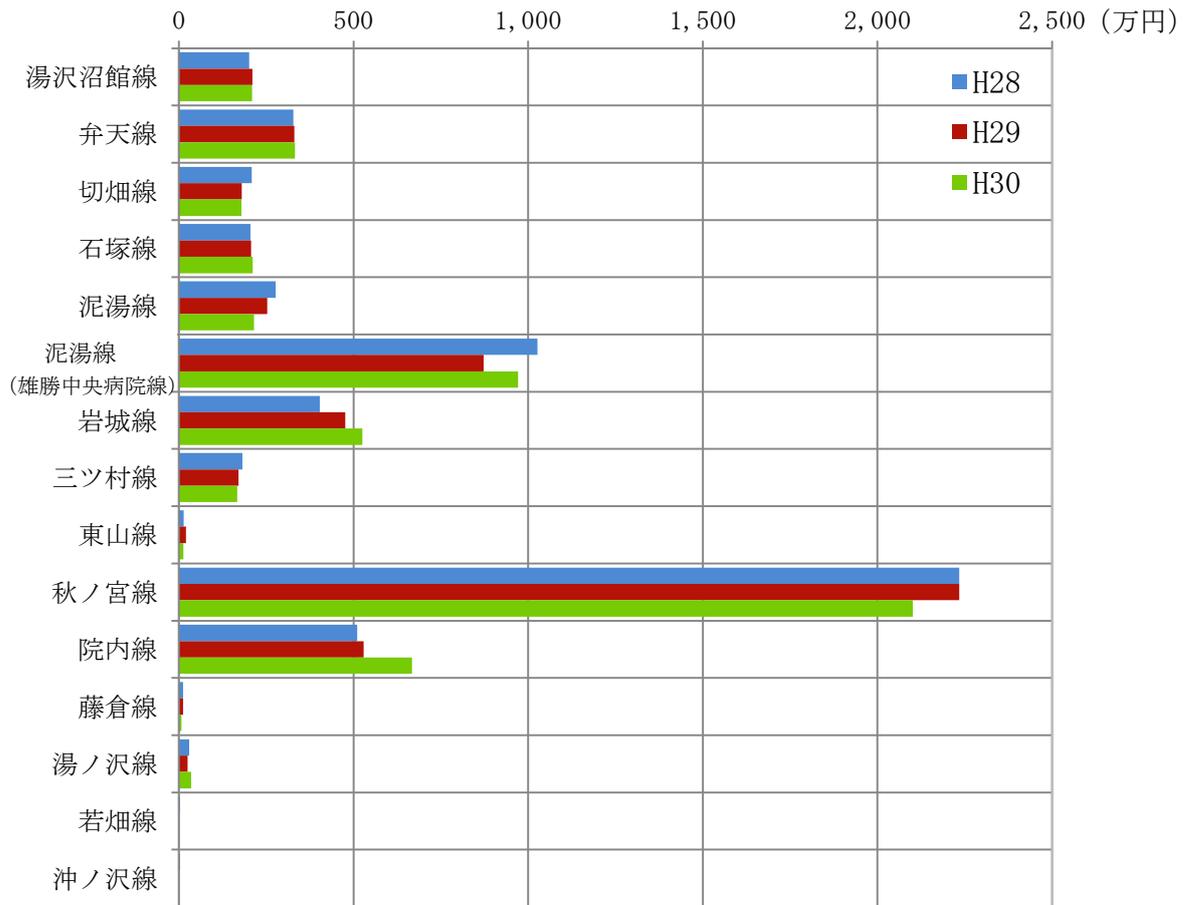
■乗合タクシーの利用者数と市の負担額



■乗合タクシーの路線ごとの利用者数の推移(3カ年)



■乗合タクシー路線ごとの市の負担額の推移(3カ年)



2-5 コミュニティバス

平成 21 年度に羽後交通㈱が運行する「大門線」が廃止されたことに伴い、平成 22 年度から主に中学生の通学手段として市がコミュニティバスを運行しています。

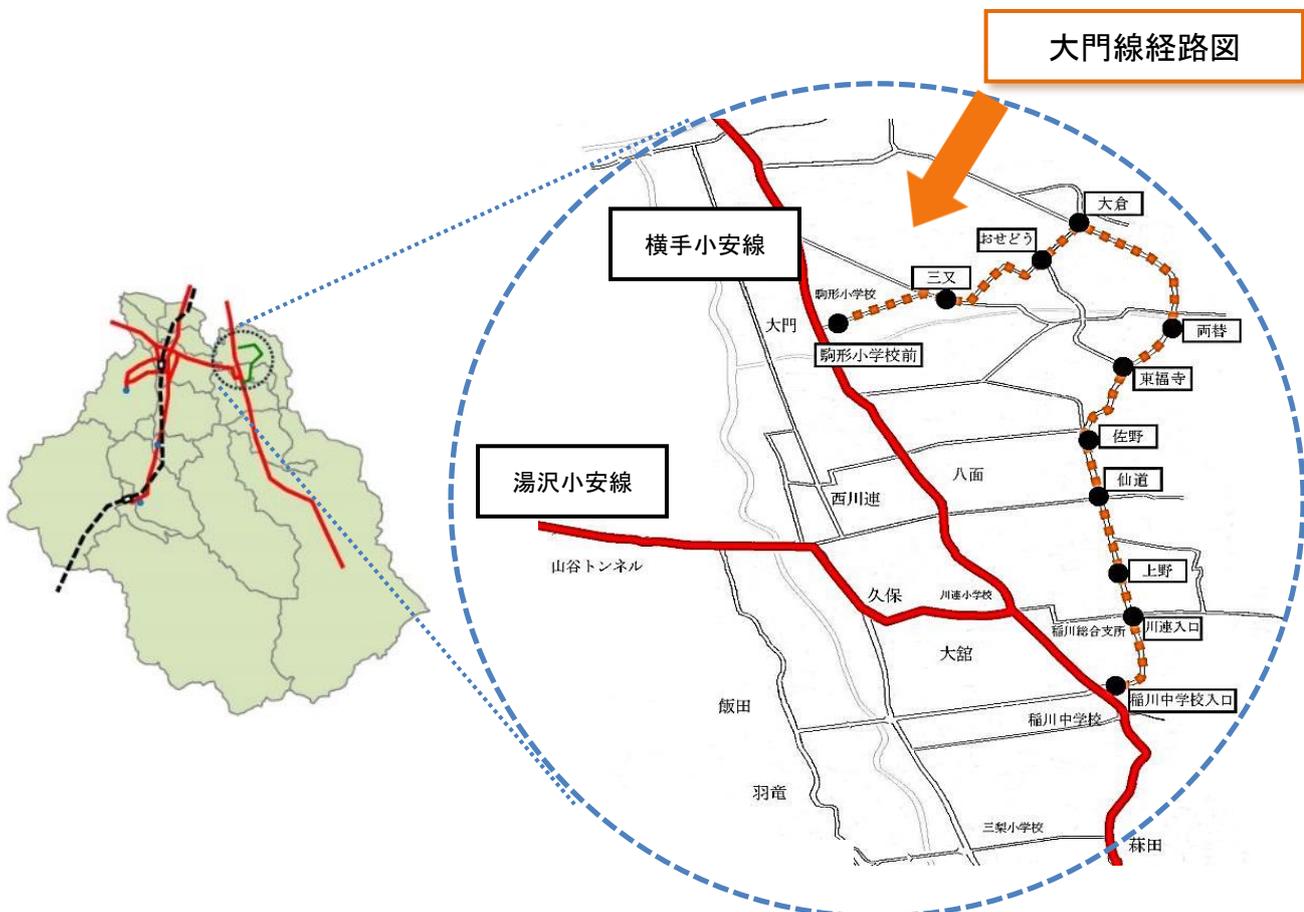
学校の登下校の時間に合わせて運行しており、一般の利用が少なく、対象区域の生徒数も減少しています。

■コミュニティバスの交通サービスの状況

コミュニティバス	起点	終点	運行本数	
			往路	復路
大門線	駒形小学校前	稲川中学校入口	1	2

■コミュニティバスの輸送状況

年度	運行日数	延利用者数
H26	203 日	4,368 人
H27	201 日	4,747 人
H28	201 日	3,783 人
H29	203 日	3,990 人
H30	201 日	3,512 人



3. 湯沢市地域公共交通網形成計画の検証

3-1 第1次計画の検証について

第1次計画を推進していくため、目指すべき方針や達成に向けた施策と指標を策定し、住民の日常生活を支える移動手段として、路線の再編や利便性の向上などに取り組んできました。

■第1次計画の方針

基本方針 みんなで育てる、安全で快適な地域公共交通
～まちを豊かに、賑わいを生む道具として将来へ繋ぐ～

【方針1】 市民の生活を支える、安全・快適な交通網づくり

(質の向上)

【方針2】 住民参加型の持続可能な地域交通づくり

(将来への継承)

【方針3】 おでかけ・交流機会を広げる仕掛けづくり

(需要の喚起)

【方針4】 情報に手が届く環境づくり

(情報発信の強化)

【方針1】市民の生活を支える、安全・快適な交通網づくり

【施策ごとの取組状況】

施策	取組事項	取組状況
運行経路の再編	バス経路の整理・再編	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの山田線とシャトルバスを統合し、雄湯郷ランド循環線を運行開始。 ・乗合タクシーの酒蔘線と泥湯線を統合し、泥湯線（雄勝中央病院線）を運行開始。
	乗合タクシーの運行の見直し	
地域間アクセスの強化	中心市街地と地域拠点、基幹病院のバス路線維持	<ul style="list-style-type: none"> ・雄湯郷ランド循環線の運行により、中心市街地と基幹病院間を周回する新たな路線を構築。 ・中心市街地と各地域（稲川、雄勝、皆瀬）を結ぶ路線を維持。
	拠点と直結または周回する交通網の構築	
結節ポイントの充実	結節機能の整備・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎完成に伴い、バスターミナルを経由することにより、路線バスの結節機能を強化。 ・乗合タクシー利用者の要望に応じて、秋ノ宮線、院内線の経由地に商業施設、金融機関などを追加。 ・羽後交通㈱が雄湯郷ランド循環線に、スマートフォンアプリを活用したバスロケーションシステムを導入。
	公共施設・集客施設への停留所機能の整備	
	結節点へのバスロケーションシステム*の導入検討	
乗り継ぎの円滑化	通学ダイヤ・路線の重点的確保	<ul style="list-style-type: none"> ・羽後交通㈱による、通学ダイヤの重点的確保は未実施。 ・通学ダイヤについての需要を把握するため市内3高校へ要望調査を実施。 ・乗継の円滑化のため、調整・連携を図る場の設置は未実施。 ・JRの時刻に合わせてダイヤ改正を実施。
	乗継の円滑化のため、調整・連携を図る場の設置	
	乗り継ぎが円滑に行えるよう、ダイヤの調整の実施	
バリアフリー化の推進	乗継拠点のバリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> ・新湯沢駅の完成により、駅のバリアフリー化を実施。 ・地元組織との協力体制の構築は未実施。
	冬季の雪壁除去等で地元組織との協力体制の構築	

*バスロケーションシステム：スマートフォンのアプリにより、バスの所在地が確認できる機能

【評価指標】

指標1 市内路線の利用者数

バス路線の整理・再編、結節機能の向上により、減少率を抑制しながら、計画終了時（H31）に26年度と同レベルの利用者数の確保を目指します。

※湯沢小安線、横堀線、雄湯郷ランド循環線の計

達成状況：未達成

単位：人

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R1 (目標値)	達成率
116,953	104,186	101,727	96,460	85,687	117,000	73%

指標 2 高校生のバス認知率

高校生の通学の選択肢となるよう動機づけと条件整備を行い、通学利用に関する認知度の向上を目指します。

達成状況：達成

単位：%

H26 (基準 値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R 1 (目標値)	達成率
36.8	—	—	—	50.0	50 以上	100%

※H30（実績値）：R1.8月実施「日常の移動と地域の公共交通に関する調査」10代の回答結果

指標 3 乗合タクシー利用者数

運行の効率化とサービス充実の実現により、計画終了時までには、H26 年度比 5%増の 23,000 人を目指します。

達成状況：未達成

単位：人

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R 1 (目標値)	達成率
21,828	20,222	20,459	19,394	19,584	23,000	85%

[方針1のまとめ]

運行経路の再編、結節ポイントの充実に取り組み、利便性の向上に努めたほか、新湯沢駅の完成により、駅のバリアフリー化が行われました。

また、利用者などの要望に応じながら各地域からのアクセスや交通機関の乗り継ぎの円滑化を進め、市民の生活を支えるための交通網づくりに努めました。

なお、自家用車の利用や人口減少に伴い、利用者の減少に歯止めがかからず、路線バス、乗合タクシーともに利用者数の目標の達成には至らなかったため、公共交通を利用しやすい環境整備が課題となっています。

今後は、新たに運行を開始した雄湯郷ランド循環線のさらなる利便性向上に努めるとともに、乗合タクシーの経路の拡充や運休日の見直しなど、サービスの向上が必要です。

【方針2】住民参加型の持続可能な地域交通づくり

【施策ごとの取組状況】

施策	取組事項	取組状況
地域組織との一体的な取り組み体制	各地区の自治組織等との検討会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地区との座談会などを通じて、公共交通の周知、ニーズの把握を実施。 ・地域と一体的な取組体制につながる検討は未実施。 ・乗合率向上等につながる利用促進活動は未実施。
	乗合率向上運動等一体となった利用促進活動	
公共交通啓発活動の展開	バスの乗り方教室や、公共交通出前講座等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・羽後交通圏によるバスの乗り方教室を1回、市による出前講座を2回実施。 ・総合学習などの活用による児童・生徒への啓蒙は未実施。 ・地域共生サミットにおいて、公共交通をテーマとする分科会を実施。
	総合学習等の活用による子どもへの啓蒙	
	イベントでの利用促進につながる啓発活動の実施	

【評価指標】

指標4 地域検討会等の開催地区数

将来不安度の高い地区を優先して、計画期間内に4地区以上で実施していきます。

達成状況：達成

単位：地区

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R1 (目標値)	達成率
—	—	—	4	1 (累計5)	累計 4地区以上	125%

指標5 予約制乗合タクシーの乗合率

将来に残すためには、利用者にも運行効率に対する意識向上が求められてきます。

地域組織との検討会等を通して協働で乗合運動を行うなど、乗合率の向上を目指します。

達成状況：未達成

単位：人／台

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R1 (目標値)	達成率
1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	2.0	85%

【方針2のまとめ】

住民参加型の持続可能な地域交通づくりのため、地域検討会を通じて各地区の住民を対象に公共交通の現状と課題をお知らせするとともに意見を伺い、先進事例の研究を行いました。具体的な検討や組織づくりにはつながりませんでした。今後はそれぞれの地域に適した交通網の実現に向けた効果的な地域検討会となるよう、内容の再検討が必要です。

また、利用されている便や路線にバラつきがあるため乗合率が伸びず、目標の達成には至らなかったため、公共交通の利用拡大につながる取組が必要です。

【方針3】おでかけ・交流機会を広げる仕掛けづくり

【施策ごとの取組状況】

施策	取組事項	取組状況
おでかけ負担軽減対策の検討	料金面での負担軽減のため、上限運賃制等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の料金面の不満は少数であり、上限運賃制等の導入は未実施。 ・心理面での負担軽減対策として、利用者ごとの交通手段、時刻等を記載した案内表「MYルートガイド」を作成。
	心理面での負担軽減のため、乗降サポート策の検討	
商店街、観光施設との連携	商店街や観光施設と連携した仕掛けづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・羽後交通圏による近隣市町村行きバスパックの販売を実施。 ・市内の商店街や観光施設と連携した利用促進は未実施。

【評価指標】

指標6 バスパック等の企画数

公共交通近傍の施設や飲食店との協力体制により、運賃と食事代等をパッケージ化し、バスと店舗の相互で利用者増を図ります。

おでかけの目的を提供するため、バスパック等の企画数を指標とし、計画期間中に3プラン以上の企画を目指します。

達成状況：未達成

単位：件

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R1 (目標値)	達成率
0	0	0	0	0	3以上	0%

【方針3のまとめ】

おでかけ負担軽減対策について、乗合タクシーに関するアンケート調査結果から、利用者の料金面の不満は少数であり、上限運賃制などの負担軽減対策は取り組みませんでした。心理面での負担軽減対策としてMYルートガイドを作成し、乗合タクシーを初めて利用する方に支援を行いました。

また、商店街、観光施設との連携について、羽後交通圏により、近隣の市町村へのバスパックが販売され、利用の促進につながる取り組みが実施されましたが、市内を対象としたバスパックの企画数の目標達成には至らなかったため、路線バスの魅力度向上と利用したいと思える仕掛けづくりが課題です。

今後も、おでかけ・交流機会の増加に向けて、利用者の意見を聴き取るとともに、公共交通の利用促進やMYルートガイドの周知など、利用者に合わせた情報発信が課題です。

【方針4】情報に手が届く環境づくり

【施策ごとの取組状況】

施策	取組事項	取組状況
総合交通マップの作成・配布	総合交通マップの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、乗合タクシーの時刻や利用方法などを記載した「ゆぎわの時刻表」を作成し、市内全戸に配布。 ・利用者ごとの交通手段、時刻等を記載した案内表「MYルートガイド」を作成し、運行内容の周知を実施。 ・路線別時刻表の作成は未実施。
	路線別時刻表の作成	
分かりやすい運行情報の提供	停留所などへの路線標示、ピクトグラム [*] の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの活用は未実施。 ・路線バスの停留所に路線標示を行い、経路の案内を実施。 ・老朽化した停留所の修繕を実施。
	待合所などでの情報提供媒体、設備などの改善	
多媒体による情報発信	地域FMやSNSなどの活用による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域FMやSNSの活用は未実施。 ・市と羽後交通(株)により時刻表を作成し、市内全戸に配布したほか、市のホームページに掲載。 ・紙面とITの連携は未実施。 ・路線バスと乗合タクシーの定期路線について、グーグルマップでの路線情報の提供を実施。 ・羽後交通(株)により、雄湯郷ランド循環線へバスロケーションシステムを導入。
	QRコードの活用などによる紙面とITの連携	
地区毎のきめ細かい情報提供	各地区毎の時刻表、路線図を作成し、営業活動（ポスティング）の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の時刻表、路線図の作成は未実施。

※ピクトグラム：情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）、絵文字。

【評価指標】

指標7 認知度（運行経路）

路線バス及び乗合タクシーの認知状況について、運行経路を「知っている」「少し知っている」の割合を計画期間終了時に50%まで増加させることを目指します。

達成状況：未達成

単位：%

H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30 (実績値)	R1 (目標値)	達成率
41.4	—	—	—	43.3	50以上	87%

※H30（実績値）：R1.8月実施「日常の移動と地域の公共交通に関する調査」結果

【方針4のまとめ】

各地区の時刻表の作成には取り組みませんでしたでしたが、市と羽後交通(株)により時刻表を作成し全戸配布を行ったほか、停留所への路線標示により運行情報の周知を図りました。

また、目標の達成には至りませんでしたでしたが、市のホームページやグーグルマップによる路線情報の提供、バスロケーションシステムの導入により、多媒体を活用した情報提供を行い、公共交通に対する認知度の向上や、情報に手が届く環境づくりに努めました。

今後は、イベント等でのチラシの配布や地区内の各種集会内での情報提供などを通じた、きめ細やかな周知活動が必要です。

3-2 重点施策の取組状況

【方針1】市民の生活を支える、安全・快適な交通網づくり

① バス経路の整理・再編

概要

(1) 中心市街地の路線整理

中心市街地の運行経路は複雑な構成となっており、分かりやすい運行経路に整理することで、中心市街地におけるにぎわい創出と回遊性の向上を図ります。

(2) 路線の統合

シャトルバスと山田線は、中心市街地と雄勝中央病院を結ぶ路線として重なる部分があり、両路線とも利用者の減少が続いていることから廃止・統合を行い、回遊性を向上させた利用しやすい新路線での運行を検討します。

取組状況

駅前停留所の分散により運行経路が複雑化していたため、平成 28 年度から路線バスが湯沢駅バスターミナルを経由するよう運行経路を整理しました。

また、平成 29 年度から利用者の確保のため、シャトルバスと山田線の一部を統合し、雄湯郷ランド循環線の右回り路線として運行を開始したほか、左回り路線を新設し、基幹病院との接続や中心市街地の活性化、利便性の向上に取り組みました。

② 結節機能の整備・強化

概要

(1) 湯沢駅の結節機能整備

バス路線ごとに湯沢駅前の停留所が分散しており、路線バスと鉄道の円滑な乗継のため、新湯沢駅の完成に併せ、結節機能の向上を図ります。

(2) 道の駅おがちの結節機能整備

乗合タクシーについて、道の駅おがちに新たに結節機能を持たせることによって、地域のおでかけと交流の活性化を促します。

また、雄勝地域内の金融機関へのアクセスを確保し、利便性向上に繋がります。

取組状況

路線バスについて、路線バスと J R の乗継に対する不満の解消のため、平成 28 年度から駅舎完成に伴い、バスターミナルを経由することにより、路線バスと鉄道の結節機能の強化を図りました。

また、乗合タクシーについて、道の駅おがちの結節機能整備は実施しませんでした。平成 30 年度から雄勝地域の秋ノ宮線、院内線の経由地に商業施設、金融機関などを追加しました。

③ 通学ダイヤ・路線の重点的確保

概要

通学利用者の確保により、利用者全体の裾野を広げるため、運行ダイヤに各校生徒の意見を反映し、利用促進を図ります。

取組状況

毎年、通学ダイヤについての需要を把握するため、市内 3 高校へ調査を行いました。自家用車による送迎が多いことから J R と路線バスに対する要望等は挙げられず、通学ダイヤや路線の拡充は実施しませんでした。

こうしたことから、路線バスについて、羽後交通圏による高校生の通学需要を確保するための利用促進や、J R の時刻に合わせた運行ダイヤの改正には至りませんでした。各地域と中心市街地を結ぶ通学路線の維持に努めました。

④ 乗合タクシーの運行の見直し

概要

- (1) 重複路線の整理
重複路線である酒蔀線と泥湯線の統合について検討し、運行内容の効率化を図ります。
- (2) 運休日の見直し
おでかけ機会の確保のため、運行内容の効率化を図りながら、路線の需要と費用負担の在り方を総合的に判断して運行日の拡充を検討します。

取組状況

運休日の見直しには至りませんでした。運行経費が増加する一方で利用者が減少している定期路線の酒蔀線と、同じ経路を運行している予約制路線の泥湯線の統合を行い、平成28年度から泥湯線（雄勝中央病院線）として予約制による運行を開始し、効率化を図りました。

【方針2】住民参加型の持続可能な地域交通づくり

⑤ 各地域の自治組織等との検討会の実施

概要

日常の移動について不安を抱えている方に対しておでかけの機会を確保するため、各地区で検討会を行い、不安軽減のための方策を地域と協働で検討する体制を構築します。
検討会を通し、既存交通の見直しだけでなく、交通空白地域においては共助的取組の導入についても支援を行います。
また、乗合率向上などの取組についても検討を行います。

取組状況

自治組織等との検討会により、日常の移動に対する不安の解消に向けた検討に取り組みました。
乗合タクシーについて、各地区からの意見を運行事業者と協議し、雄勝地域の経路内に商業施設や金融機関などを追加した上、集落内を運行するなど、経路地の拡充を図り、利便性の向上を図りました。

【方針3】おでかけ・交流機会を広げる仕掛けづくり

⑥ 商店街や観光施設と連携した仕掛けづくり

概要

公共交通の路線付近の施設や飲食店などと連携し、おでかけを促す仕掛け（プラン）をつくることにより、交通の活性化とまちの賑わい創出に繋がります。

取組状況

羽後交通(株)により、近隣市町村行きのバスパックが販売されましたが、市内を対象とした商店街や観光施設と連携した商品づくりには取り組めませんでした。

【方針4】情報に手が届く環境づくり

⑦ 停留所等への路線標示、ピクトグラムの活用

概要

路線バスの停留所への路線図の表示や、ピクトグラムを活用することにより、分かりやすい乗降環境への改善と利用に関する不安の軽減に取り組めます。

取組状況

ピクトグラムの活用には至りませんでした。路線バスの停留所に路線標示を行い、経路の案内を行いました。

3-3 検証の総括

安全・快適な交通網づくりについては、路線バス、乗合タクシーの路線再編による新たな交通網の構築や運行経路の再編、結節ポイントの充実、駅のバリアフリー化およびバスロケーションシステムの導入などによる利便性の向上に取り組みました。

持続可能な地域交通づくりについては、各地区の住民を対象に公共交通の現状と課題をお知らせするとともに意見を伺い、先進事例の研究を行いました。組織づくりにはつながりませんでした。

外出の負担軽減対策については、心理面での負担軽減対策としてMYルートガイドを作成し、乗合タクシーを初めて利用する方に支援を行いました。また、利用者の料金面の不満は少数であり、上限運賃制などの負担軽減対策は取り組みませんでした。

公共交通の情報発信については、市と羽後交通㈱により時刻表を作成し全戸配布を行ったほか、停留所への路線標示、市のホームページやグーグルマップによる多媒体を活用した情報提供を行いました。

第1次計画では、公共交通の利便性向上、多媒体を活用した情報発信などを行ったものの、自家用車の利用や人口減少に伴い、利用者の減少に歯止めがかからない状況です。

全市民を対象とした日常の移動と地域の公共交通に関するアンケート結果によると、1年以内に公共交通を利用した割合は約10%にとどまっており、さらなる利便性やサービスの向上を図るとともに、利用促進に向けたきめ細やかな情報発信が課題となっています。

また、路線バス、乗合タクシーの運行経費に対する市の負担が年々増加しており、公共交通を将来にわたって維持するため、それぞれの地域に適した持続可能な運行形態の実現が課題です。

4. 第2次湯沢市地域公共交通網形成計画

4-1 第2次計画の方針

公共施設再編や日常生活に欠かせない施設の状況に合わせて、さらに利便性の向上を図るため、公共交通を現在利用していない方を含めたニーズ把握により、公共交通を利用しやすい環境整備が必要です。

公共交通の利用促進について、利用者や地域に合わせた分かりやすい情報発信に取り組むとともに、交通弱者対策として、移動に対する不安の解消に向けた情報発信を強化し、誰でも安心して公共交通を利用できる取組が必要です。

持続可能な地域公共交通の実現について、住民が主体となった運送サービスのモデル事業、スクールバスや地域内を運行しているバス車両への住民混乗など、新たな運行手段の導入を、地域と一体になった検討を進める必要があります。

また、新たに発生した課題として、社会問題化している高齢者の自動車運転事故を防止するため、湯沢警察署など関係機関との連携による運転免許証を返納しやすい環境づくりが必要です。

以上のことから、第2次計画では、次の3方針を設定し、環境整備による利便性の向上と、需要喚起や情報発信の強化による利用促進、公共交通を将来へ継承するため、持続可能な地域公共交通の構築の取組を進めます。

基本方針 共に築き、守り、将来につなぐ地域公共交通

方針1 日常の生活を支える地域公共交通網の実現

方針2 地域公共交通の利用促進

方針3 持続可能な地域公共交通の構築

4-2 計画の内容

基本方針 共に築き、守り、将来につなぐ地域公共交通	方針1 日常の生活を支える地域公共交通網の実現
	【施策】 I 公共交通網の維持・改善 II 乗り継ぎの円滑化 【指標】 ①公共交通に対する市民満足度 目標値（R 6）35%
	方針2 地域公共交通の利用促進
	【施策】 I 多角的な情報の発信 II 高齢者の移動手段の確保 【指標】 ②路線バスの年間利用者数 目標値（R 6）71,380人 ③乗合タクシーの年間利用者数 目標値（R 6）20,500人
	方針3 持続可能な地域公共交通の構築
	【施策】 I 交通路線の維持に向けた地域との協働・連携 II 公共交通の質的向上と最適化 【指標】 ④新たな交通システムのモデル事業数 目標値（R 6）2地域 ⑤将来の移動に対する不安度 目標値（R 6）30%以下

方針 1 日常生活を支える地域公共交通網の実現

- (1) 日常生活を支える公共交通網を目指し、公共施設の再編や地域内のニーズの変化に合わせて、中心市街地と各地域を結ぶ交通網の維持に努めます。
- (2) 公共交通の利便性の向上を図り、移動手段の選択肢として誰でも利用できる公共交通網を整備します。
- (3) 他の交通機関との乗り継ぎの円滑化を図り、通院や買物等の目的に応じた運行ダイヤの調整を行います。

今後の取組

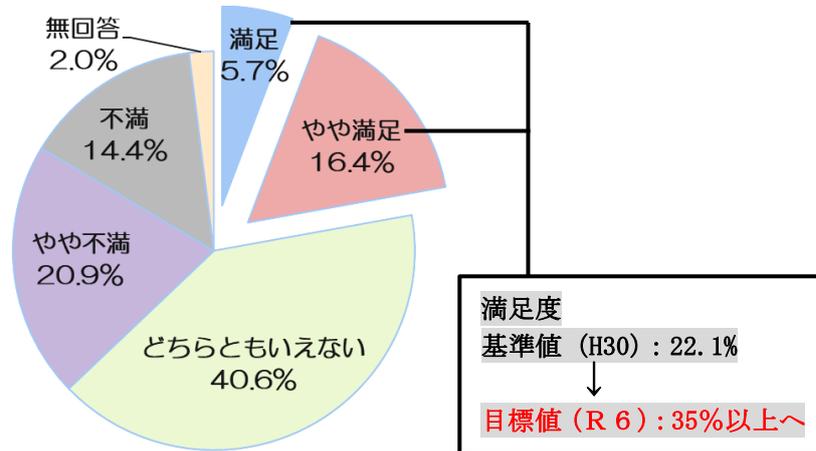
施策	取組事項	取組内容	実施主体
I 公共交通網の 維持・改善	I-1 公共施設等への 運行ルート 見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再編や日常生活に欠かせない施設の配置状況に合わせて、適切な運行ルートの見直しや運行ダイヤの調整を行い、利便性の向上を図る。 ・雄湯郷ランド循環線の運行経路に湯沢文化会館や商業施設などを追加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者
	I-2 中心市街地と 地域拠点、基 幹病院間のバ ス路線維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに対応できる運行を目指し、利用者減少の抑制に努め、通院などの目的に応じた、生活を支えるバス路線を維持する。 ・公共交通のチラシを作成し、病院や商業施設などに配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者
	I-3 乗合タクシー の運行の見直 し	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーの利便性向上のため、利用したことが無い方へニーズ調査などを行い、サービスの向上を検討する。 ・地域内で開催される各種会議等で公共交通の周知を行うとともに、ニーズの聴き取りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・タクシー事業者
II 乗り継ぎの円 滑化	II-1 他の移動手段 に合わせた乗 り継ぎの円滑 化	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、乗合タクシー、JR間の乗り継ぎにかかる待ち時間を短縮するため、運行ダイヤの調整などを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者

指標

① 公共交通に対する市民満足度

ニーズに対応できる交通網の整備を進め、令和6年度までに平成30年度比、約13%増の35%以上を目指します。

平成30年度 公共交通の整備と利用促進に対する市民満足度



出典：令和元年度 湯沢市 市民満足度調査

方針2 地域公共交通の利用促進

- (1) 利用者にとって分かりやすい情報の発信に努め、さらなる利用促進を図ります。
また、コミュニティFM、SNS、出前講座などを活用し、効果的な情報発信に努めます。
- (2) 人口減少により公共交通の利用者が減少している中、公共交通の新規利用者を確保に向けて、利用するためのきっかけづくりを行います。
- (3) 高齢者による自動車事故の防止や免許返納後の切れ目の無い移動手段の確保のため、高齢者を対象とした公共交通の周知や自家用車に代わる移動手段としての利用促進を図ります。

今後の取組

施策	取組事項	取組内容	実施主体
I 多角的な情報の発信	I-1 分かりやすい情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市による路線バス、乗合タクシーの時刻や利用方法などを記載した「ゆざわの時刻表」、羽後交通による「バス時刻表」の作成や全戸配布を行い、運行情報の提供に取り組む。 ・利用者ごとの交通手段、時刻等を記載した案内表「MYルートガイド」の周知や作成に取り組み、利用者に合わせた情報提供に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者
	I-2 効果的な情報発信手段の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報、ホームページ、フェイスブック、コミュニティFMなど、地域住民に届きやすい手段を活用して、効果的な情報発信に努める。 ・福祉事業者などと連携し、公共交通の情報発信に取り組むとともに、地域内のニーズ把握を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者
	I-3 地域に合わせたきめ細かい情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や地域内で開催される各種会議内などで、公共交通の周知を行うほか、ニーズ把握を行う。 ・地域内の各種団体と連携した情報発信に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市
II 高齢者の移動手段の確保	II-1 公共交通を利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・羽後交通(株)によるバスの乗り方教室や、市による乗合タクシーの利用体験会を行い、公共交通を利用するためのきっかけづくりに取り組む、移動に対する不安の解消や、新規利用者の確保につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者
	II-2 免許返納者への情報提供の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢警察署と連携し、自家用車に代わる将来的な移動手段として公共交通の周知を図り、切れ目のない移動手段の確保を図る。 ・湯沢警察署内に、公共交通のチラシと乗合タクシーの登録申請書を配置し、運転免許証の返納手続を行った方に周知を図るとともに、公共交通の利用につなげる。 ・交通安全協会を通じて公共交通のチラシを配布するなど、情報提供の強化に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・湯沢警察署

指標

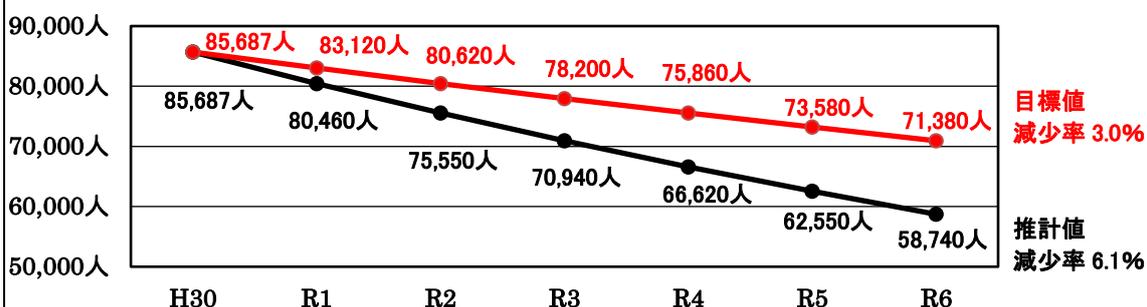
② 路線バスの年間利用者数

路線バスの利用者について、過去5年間の平均減少率を適用すると、令和6年度の利用者数の推計値は58,740人になります。(市内路線：湯沢小安線、横堀線、山田線、雄湯郷ランド循環線)

利用促進により減少率を抑制し、令和6年度の推計値に対して、71,380人の確保を目指します。

※直近5年間の年間平均減少率が6.1%であるため、約半分の3.0%に抑制します。

路線バスの利用者数

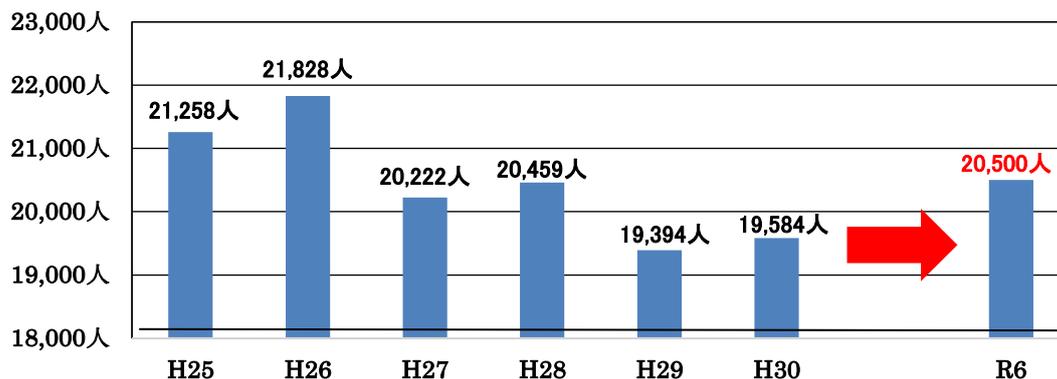


③ 乗合タクシーの年間利用者数

情報発信の強化による利用促進とサービスの充実により、令和6年度までに直近5年間の平均利用者数である20,500人の確保を目指します。

※利用のばらつきはあるものの、情報発信の強化により利用者数の増加が見込めるため、平成30年度比、約5%増の20,500人を目指します。

乗合タクシーの利用者数



方針3 持続可能な地域公共交通の構築

- (1) 住民の将来的な移動手段に対する不安を解消し、安心して外出できるよう、地域と協働でニーズの把握などに取り組み、新たな運行形態を検討します。
- (2) 利用者の減少などにより運行経費が増加している中、持続可能な地域公共交通の構築に向けて、運行経費の費用対効果や利用者負担を検証し、運行サービスの効率化を図ります。

今後の取組

施策	取組事項	取組内容	実施主体
I 交通路線の維持に向けた地域との協働・連携	I-1 住民ニーズの把握	・公共交通を利用していない方を対象としたアンケート調査や地区との意見交換を通じて、住民からのニーズや意見を聞き取り、地区の特性に合わせて運行内容に見直しを図る。	・市
	I-2 新たな交通手段の導入の検討	・自治組織などとの検討会を通じて意見交換を図り、状況に応じて、住民が主体となった運送サービスのモデルプランを示し、持続可能なモデル事業を実施する。	・市 ・自治組織等
II 公共交通の質的向上と最適化	II-1 効率的な運行内容の検討	・利用の目的に応じた運行ダイヤの調整を行い、効率的な運行を目指す。 ・市からタクシー事業者に支払う負担金の見直しを検討し、運行経費の適正化に取り組む。 ・乗合タクシーの利用者負担の適正化を検討する。	・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者
	II-2 移動の不安を解消するための支援	・運転免許証を返納した方や障がいを持つ方への運賃割引サービス等の拡充を検討する。 ・羽後交通(株)によるバスの乗り方教室や、市による乗合タクシーの利用体験会を行い、公共交通を利用するためのきっかけづくりに取り組み、移動に対する不安の解消や、新規利用者の確保につなげる。	・市 ・湯沢警察署 ・福祉事業者等
	II-3 交通システムの見直しによる利便性の向上	・スクールバスや地域内を運行しているバス車両への住民混乗など、新たな交通システムを導入する。 ・MaaS*などの新技術の動向を注視し、地域公共交通に資する取組を検討する。	・市

※MaaS：Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）の略。スマートフォンアプリなどの情報機器により、自家用車以外の交通サービスを需要に応じて利用できる一つのサービスに統合すること。

指標

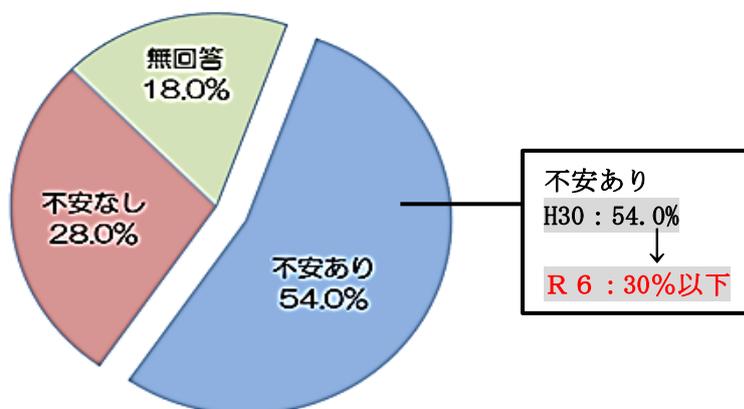
④ 新たな交通システムのモデル事業数

地区の特性に合わせた新たな交通システムのモデル事業を令和6年度までに2地域で実施します。

⑤ 将来の移動に対する不安度

運転免許証の更新・返納手続きをする方への情報提供を強化し、将来の移動に不安を持つ方の割合を令和6年度までに平成30年度比、24%の減少を目指します。

平成30年度
お住まいの地域での将来への移動に対する不安度



出典：令和元年度 湯沢市 市民満足度調査

資料編

5-1 日常の移動と地域の公共交通に関する調査

- 5-1-1 日常の活動に伴う現在の移動状況および将来の不安
- 5-1-2 路線バスや乗合タクシーの利用状況
- 5-1-3 路線バスや乗合タクシーの認知状況
- 5-1-4 今後の公共交通に対する市の予算の使い方について

5-2 乗合タクシー利用者アンケート

- 5-2-1 乗合タクシーの利用状況
- 5-2-2 乗合タクシーの利用ニーズ

5. 資料 アンケート結果

5-1 日常の移動と地域の公共交通に関する調査

《調査概要》

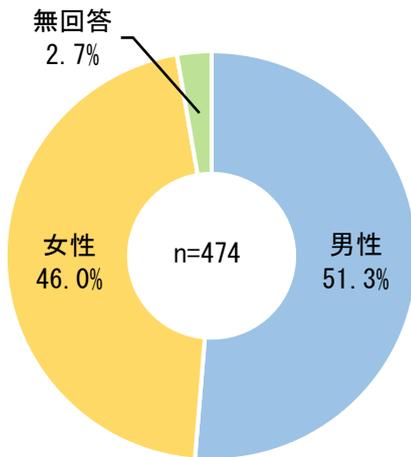
項目	概要
調査対象・抽出方法	15歳以上の住民41,038人の中から、1,100人（2.7%）を対象として実施
調査方法	郵送による配布及び回収
調査期日	令和元年8月9日（金）～ 令和元年8月23日（金）
回収率	43.1%（474件）

《集計結果の端数処理等》

- ・ 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積み上げたパーセントの合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- ・ 回答比率の分母となる回答者数は、「n」として掲載しています。
- ・ 複数回答の場合は、回答総数を「MA」として掲載しています。

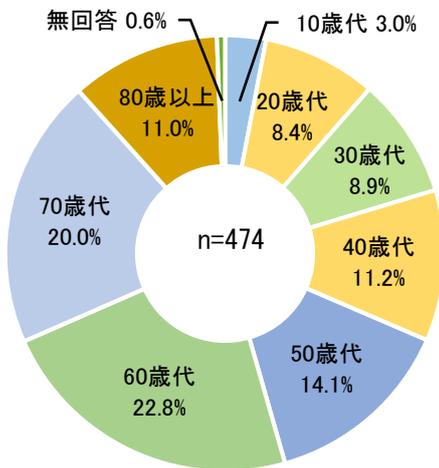
《回答者の属性》

■回答者の性別



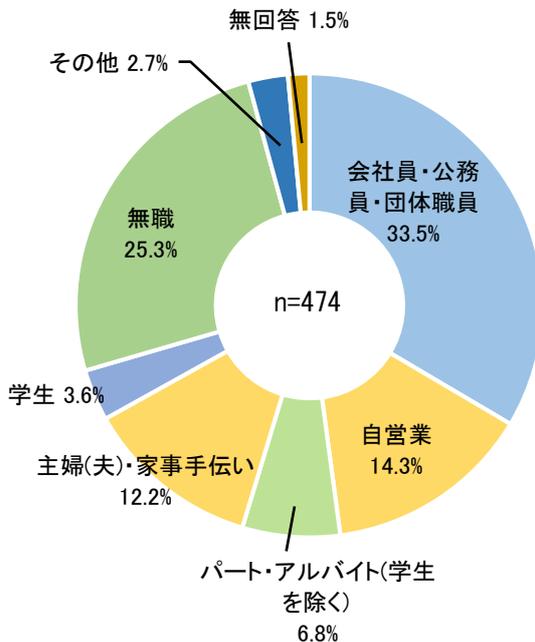
内容	回答数	割合
男性	243	51.3%
女性	218	46.0%
無回答	13	2.7%
全体	474	100%

■回答者の年齢



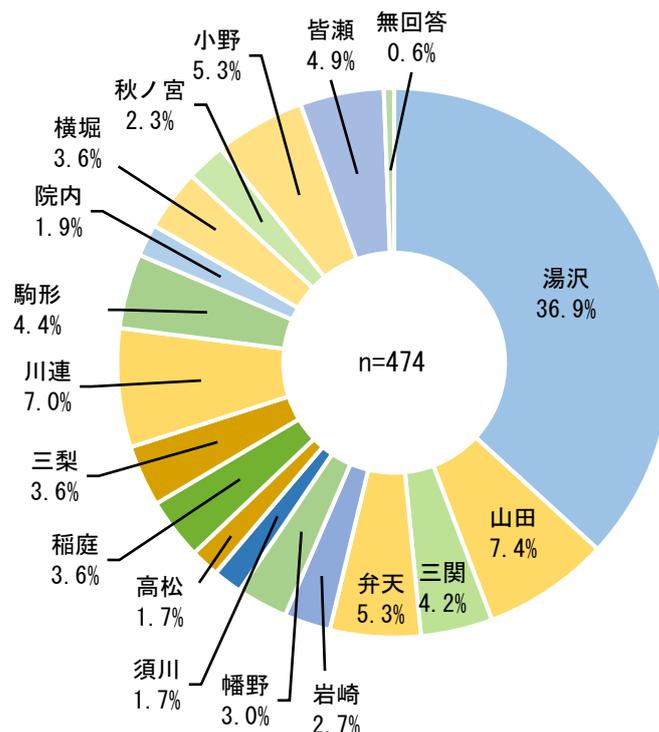
内容	回答数	割合
10歳代	14	3.0%
20歳代	40	8.4%
30歳代	42	8.9%
40歳代	53	11.2%
50歳代	67	14.1%
60歳代	108	22.8%
70歳代	95	20.0%
80歳以上	52	11.0%
無回答	3	0.6%
全体	474	100%

■回答者の職業



内容	回答数	割合
会社員・公務員・団体職員	159	33.5%
自営業	68	14.3%
パート・アルバイト(学生を除く)	32	6.8%
主婦(夫)・家事手伝い	58	12.2%
学生	17	3.6%
無職	120	25.3%
その他	13	2.7%
無回答	7	1.5%
全体	474	100%

■回答者の居住地区



地区名	回答数	割合
湯沢	175	36.9%
山田	35	7.4%
三関	20	4.2%
弁天	25	5.3%
岩崎	13	2.7%
幡野	14	3.0%
須川	8	1.7%
高松	8	1.7%
稲庭	17	3.6%
三梨	17	3.6%
川連	33	7.0%
駒形	21	4.4%
院内	9	1.9%
横堀	17	3.6%
秋ノ宮	11	2.3%
小野	25	5.3%
皆瀬	23	4.9%
無回答	3	0.6%
全体	474	100%

※地域別集計

地域名	回答数	割合
湯沢地域	298	62.9%
稲川地域	88	18.6%
雄勝地域	62	13.1%
皆瀬地域	23	4.9%
無回答	3	0.6%
全体	474	100%

・湯沢地域 内訳

湯沢、山田、三関、弁天、岩崎、幡野、
須川、高松

・稲川地域 内訳

稲庭、三梨、川連、駒形

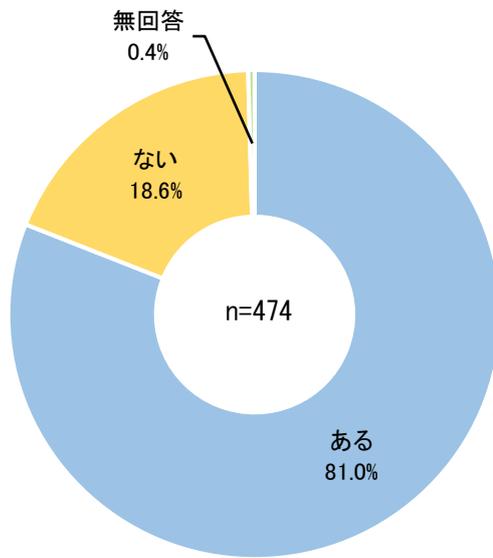
・雄勝地域 内訳

院内、横堀、秋ノ宮、小野

・皆瀬地域 内訳

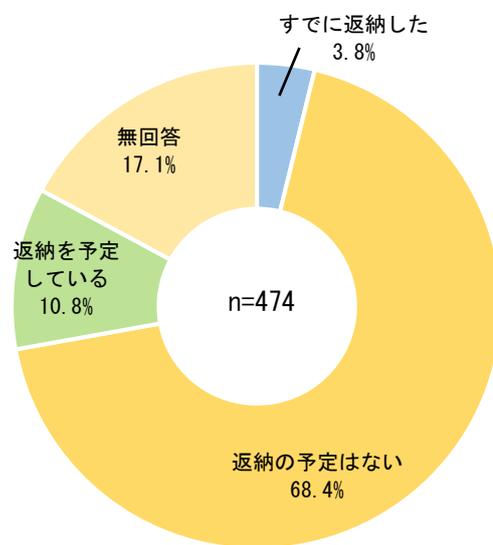
皆瀬

■回答者の自動車運転免許の有無



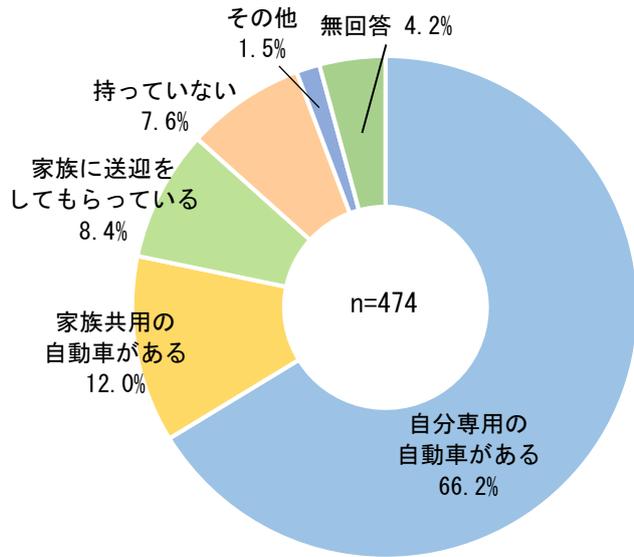
内容	回答数	割合
ない	88	18.6%
ある	384	81.0%
無回答	2	0.4%
全体	474	100%

■回答者の免許返納について



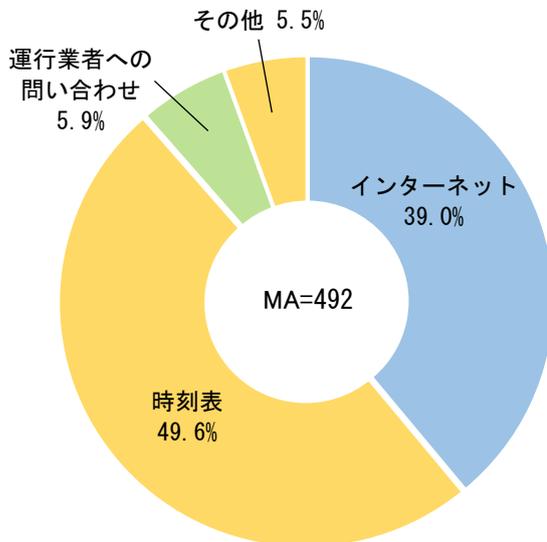
内容	回答数	割合
すでに返納した	18	3.8%
返納の予定はない	324	68.4%
返納を予定している	51	10.8%
無回答	81	17.1%
全体	474	100%

■回答者の自動車の所有状況



内容	回答数	割合
自分専用の自動車がある	314	66.2%
いつでも使える家族共有の自動車がある	57	12.0%
運転はできないが、家族に不便なく送迎をもらっている	40	8.4%
持っていない	36	7.6%
その他	7	1.5%
無回答	20	4.2%
全体	474	100%

■回答者の公共交通に関する情報収集の手段



内容	回答数	割合
インターネット	192	39.0%
時刻表	244	49.6%
運行業者への問い合わせ	29	5.9%
その他	27	5.5%
回答総数	492	100%
全体	474	-

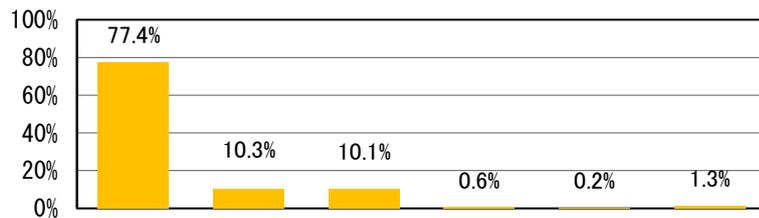
5-1-1 日常の活動に伴う現在の移動状況および将来の不安

日常の各種活動における移動について調査したところ、現在は移動に問題がなくとも、約4割の方は将来への不安を抱えています。

年齢別では70歳代、80歳代以上、地区別では稲川地域、皆瀬地域で将来の不安度が非常に高くなっており、需要の把握による利便性の向上、持続可能な運行が必要です。

■移動の状況

- 『一人で十分できる』と答えた方は全体の約8割を占めている。年齢別には、30歳代～50歳代では9割以上と高い割合となっているが、10歳代では約4割、80歳以上では4割以下となっている。

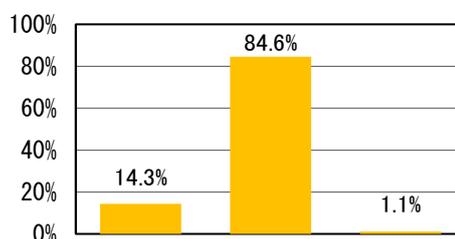


		全体 (n)	一人で十分 できる	あれはかの助けが できる	何とか一人で できる	行きたいが できない	行く必要が ない	無回答
全体		474	367	49	48	3	1	6
			77.4%	10.3%	10.1%	0.6%	0.2%	1.3%
性別	男性	243	79.8%	7.0%	11.1%	0.0%	0.4%	1.6%
	女性	218	75.7%	13.8%	8.7%	0.9%	0.0%	0.9%
	無回答	13	61.5%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	14	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	40	80.0%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	5.0%
	30歳代	42	97.6%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	53	92.5%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%
	50歳代	67	95.5%	1.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	108	86.1%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%	0.9%
	70歳代	95	65.3%	12.6%	18.9%	1.1%	1.1%	1.1%
	80歳以上	52	32.7%	34.6%	26.9%	3.8%	0.0%	1.9%
	無回答	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	77.5%	10.4%	9.7%	0.3%	0.3%	1.7%
	稲川地域	88	81.8%	6.8%	9.1%	2.3%	0.0%	0.0%
	雄勝地域	62	74.2%	11.3%	12.9%	0.0%	0.0%	1.6%
	皆瀬地域	23	65.2%	21.7%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■移動について、現在の不安の有無

- 全体としては現在『不安がない』と答えた方が8割以上を占めている。
- 年齢別では、80歳以上の約5割の方が現在『不安がある』と答えている。
- 地域別では、皆瀬地域において現在『不安がある』と答えた方の割合が他地域と比べると若干高い。

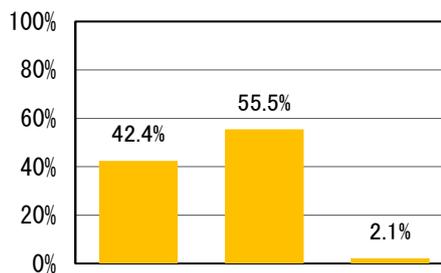


		全体 (n)	不安が ある	不安が ない	無回答
全体		474	68 14.3%	401 84.6%	5 1.1%
性別	男性	243	11.1%	88.1%	0.8%
	女性	218	17.4%	81.2%	1.4%
	無回答	13	23.1%	76.9%	0.0%
年齢	10歳代	14	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	40	10.0%	87.5%	2.5%
	30歳代	42	4.8%	92.9%	2.4%
	40歳代	53	3.8%	94.3%	1.9%
	50歳代	67	4.5%	95.5%	0.0%
	60歳代	108	8.3%	91.7%	0.0%
	70歳代	95	21.1%	76.8%	2.1%
	80歳以上	52	53.8%	46.2%	0.0%
	無回答	3	0.0%	100.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	13.4%	85.9%	0.7%
	稲川地域	88	17.0%	81.8%	1.1%
	雄勝地域	62	11.3%	87.1%	1.6%
	皆瀬地域	23	26.1%	69.6%	4.3%
	無回答	3	0.0%	100.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■移動について、5年後を想定した不安の有無

- 70歳代の約8割、80歳以上の約9割の方が5年後『不安がある』と答えてはいるものの、全体としては5年後『不安がない』と答えた方が約6割を占めている。

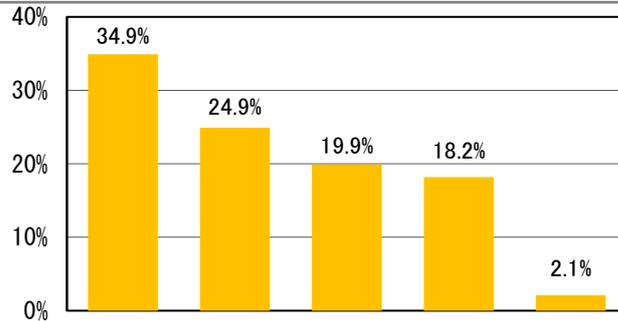


		全体 (n)	不安が ある	不安が ない	無回答
全体		474	201 42.4%	263 55.5%	10 2.1%
性別	男性	243	38.7%	60.1%	1.2%
	女性	218	45.0%	52.3%	2.8%
	無回答	13	69.2%	23.1%	7.7%
年齢	10歳代	14	14.3%	85.7%	0.0%
	20歳代	40	12.5%	85.0%	2.5%
	30歳代	42	14.3%	83.3%	2.4%
	40歳代	53	11.3%	86.8%	1.9%
	50歳代	67	28.4%	68.7%	3.0%
	60歳代	108	39.8%	59.3%	0.9%
	70歳代	95	76.8%	21.1%	2.1%
	80歳以上	52	90.4%	7.7%	1.9%
	無回答	3	0.0%	66.7%	33.3%
地域	湯沢地域	298	40.6%	57.4%	2.0%
	稲川地域	88	48.9%	50.0%	1.1%
	雄勝地域	62	40.3%	56.5%	3.2%
	皆瀬地域	23	52.2%	47.8%	0.0%
	無回答	3	0.0%	66.7%	33.3%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■現在および5年後について不安だと思う項目

- 不安だと思う項目として最も割合が高かったのは『体調の状況』であり、全体の約4割を占めている。
- 年齢別では、10歳代～20歳代は『公共交通の便』、30歳代～40歳代は『経済面』を特に不安視している。

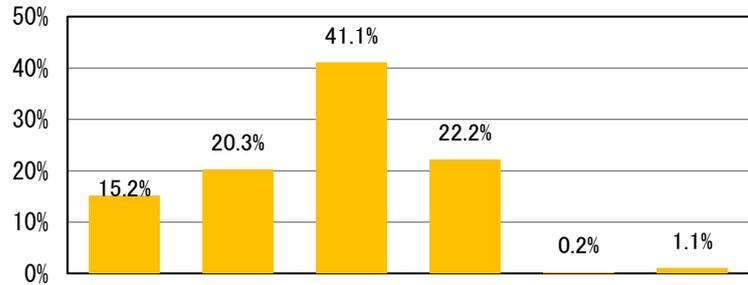


		総回答数 (MA)	体調の状況	公共交通の便	経済面	車の運転	その他
全体		473	165	118	94	86	10
			34.9%	24.9%	19.9%	18.2%	2.1%
性別	男性	218	37.2%	22.5%	17.0%	21.1%	2.3%
	女性	240	32.5%	27.5%	22.9%	15.0%	2.1%
	無回答	15	40.0%	20.0%	13.3%	26.7%	0.0%
年齢	10歳代	8	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	25.0%
	20歳代	26	15.4%	42.3%	26.9%	7.7%	7.7%
	30歳代	18	22.2%	33.3%	33.3%	5.6%	5.6%
	40歳代	25	20.0%	28.0%	44.0%	4.0%	4.0%
	50歳代	54	25.9%	27.8%	29.6%	16.7%	0.0%
	60歳代	114	39.5%	21.1%	16.7%	21.1%	1.8%
	70歳代	142	40.1%	21.8%	14.8%	22.5%	0.7%
	80歳以上	85	42.4%	22.4%	15.3%	18.8%	1.2%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域	湯沢地域	270	37.8%	24.1%	19.6%	15.9%	2.6%
	稲川地域	117	28.2%	29.1%	20.5%	21.4%	0.9%
	雄勝地域	48	41.7%	22.9%	18.8%	14.6%	2.1%
	皆瀬地域	37	27.0%	21.6%	21.6%	27.0%	2.7%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

- ◆ 全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆ 回答者5人以下の場合は参考値としています。

■公共交通の利用頻度が5年後にどのように変化するか

- 『変わらない』と答えた方が全体の約4割を占めている。
- 年齢別では、20歳代～50歳代の半数以上が『変わらない』と答えているが、10歳代の約6割は『減ると思う』と答えている。
- 地域別では、皆瀬地域において『減ると思う』と答えた方の割合が他地域に比べると若干高い。

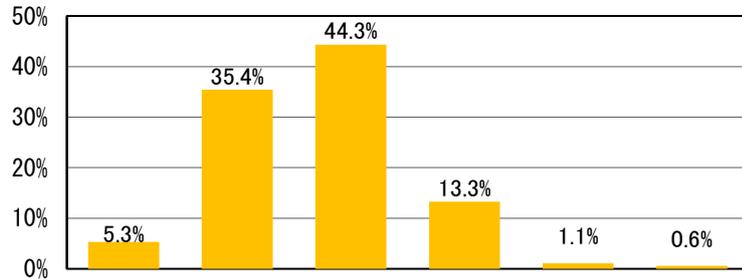


		全体 (n)	増える と思う	減る と思う	変 わ ら な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		474	72 15.2%	96 20.3%	195 41.1%	105 22.2%	1 0.2%	5 1.1%
性別	男性	243	16.0%	23.0%	42.0%	17.3%	0.0%	1.6%
	女性	218	13.8%	17.4%	40.8%	27.5%	0.5%	0.0%
	無回答	13	23.1%	15.4%	30.8%	23.1%	0.0%	7.7%
年齢	10歳代	14	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	40	5.0%	30.0%	52.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	42	4.8%	23.8%	59.5%	9.5%	0.0%	2.4%
	40歳代	53	5.7%	11.3%	64.2%	18.9%	0.0%	0.0%
	50歳代	67	10.4%	19.4%	56.7%	13.4%	0.0%	0.0%
	60歳代	108	18.5%	13.0%	45.4%	21.3%	0.0%	1.9%
	70歳代	95	26.3%	16.8%	18.9%	36.8%	0.0%	1.1%
	80歳以上	52	21.2%	30.8%	11.5%	32.7%	1.9%	1.9%
	無回答	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	16.1%	17.4%	45.6%	19.5%	0.0%	1.3%
	稲川地域	88	12.5%	25.0%	28.4%	34.1%	0.0%	0.0%
	雄勝地域	62	14.5%	19.4%	40.3%	22.6%	1.6%	1.6%
	皆瀬地域	23	17.4%	34.8%	34.8%	13.0%	0.0%	0.0%
	無回答	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

- ◆全体比10pt以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■公共交通の利便性が向上した場合の外出機会の増加について

- 『変わらない』と答えた方が全体の約4割を占めているが、『増えると思う』『大幅に増えると思う』と答えた方も約4割となっている。
- 10歳代、20歳代においては半数以上が『増えると思う』と答えている。

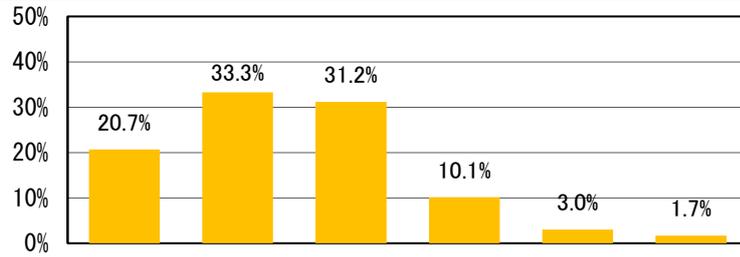


		全体 (n)	増える と思う	大幅 に 増える と 思う	増える と 思う	変 わ ら な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		474	25	168	210	63	5	3	
			5.3%	35.4%	44.3%	13.3%	1.1%	0.6%	
性別	男性	243	4.9%	32.9%	49.0%	10.7%	1.6%	0.8%	
	女性	218	4.6%	39.0%	38.5%	17.0%	0.5%	0.5%	
	無回答	13	23.1%	23.1%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢	10歳代	14	7.1%	57.1%	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	
	20歳代	40	5.0%	50.0%	37.5%	7.5%	0.0%	0.0%	
	30歳代	42	9.5%	33.3%	52.4%	4.8%	0.0%	0.0%	
	40歳代	53	3.8%	34.0%	41.5%	18.9%	0.0%	1.9%	
	50歳代	67	4.5%	37.3%	52.2%	6.0%	0.0%	0.0%	
	60歳代	108	2.8%	32.4%	54.6%	8.3%	0.9%	0.9%	
	70歳代	95	5.3%	33.7%	36.8%	20.0%	3.2%	1.1%	
	80歳以上	52	9.6%	30.8%	32.7%	26.9%	0.0%	0.0%	
	無回答	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域	湯沢地域	298	5.0%	35.2%	44.6%	14.4%	0.3%	0.3%	
	稲川地域	88	5.7%	35.2%	42.0%	15.9%	1.1%	0.0%	
	雄勝地域	62	6.5%	35.5%	43.5%	8.1%	3.2%	3.2%	
	皆瀬地域	23	4.3%	43.5%	43.5%	4.3%	4.3%	0.0%	
	無回答	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■公共交通を利用する場合の自宅から停留所までの距離や所要時間について

- 自宅から停留所までの距離が300m～500m、時間にして徒歩で約4分～6分であれば許容できると答えた方が全体の約6割を占めている。
- 皆瀬地域では『300m(徒歩で約4分)』と答えた方が約4割を占めており、他地域と比べても高い割合である。



		全体 (n)	100m (徒歩約1分)	300m (徒歩約4分)	500m (徒歩約6分)	1km 以上 (徒歩 約13分 以上)	その他	無回答
全体		474	98 20.7%	158 33.3%	148 31.2%	48 10.1%	14 3.0%	8 1.7%
性別	男性	243	20.6%	34.6%	32.5%	8.6%	2.1%	1.6%
	女性	218	20.2%	31.2%	30.7%	12.4%	3.7%	1.8%
	無回答	13	30.8%	46.2%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%
年齢	10歳代	14	35.7%	7.1%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	40	17.5%	32.5%	27.5%	20.0%	2.5%	0.0%
	30歳代	42	19.0%	23.8%	45.2%	4.8%	4.8%	2.4%
	40歳代	53	22.6%	34.0%	30.2%	9.4%	0.0%	3.8%
	50歳代	67	17.9%	41.8%	28.4%	9.0%	3.0%	0.0%
	60歳代	108	17.6%	38.9%	31.5%	8.3%	1.9%	1.9%
	70歳代	95	18.9%	32.6%	30.5%	11.6%	4.2%	2.1%
	80歳以上	52	28.8%	26.9%	23.1%	13.5%	5.8%	1.9%
	無回答	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	21.5%	33.2%	30.9%	9.7%	2.7%	2.0%
	稲川地域	88	18.2%	33.0%	34.1%	12.5%	2.3%	0.0%
	雄勝地域	62	17.7%	32.3%	32.3%	9.7%	4.8%	3.2%
	皆瀬地域	23	17.4%	43.5%	26.1%	8.7%	4.3%	0.0%
	無回答	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

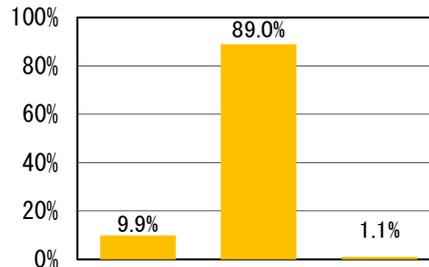
- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

5-1-2 路線バスや乗合タクシーの利用状況

1年以内に公共交通を利用した方は9.9%であり、公共交通の維持のため、新規利用者の掘り起こしにつながる利便性の向上や情報発信が必要です。

利用者は運行ルートや自宅から停留所までの距離には比較的満足しているものの、運行本数や運行時間帯への不満が高くなっています。

■公共交通の利用状況(1年以内)

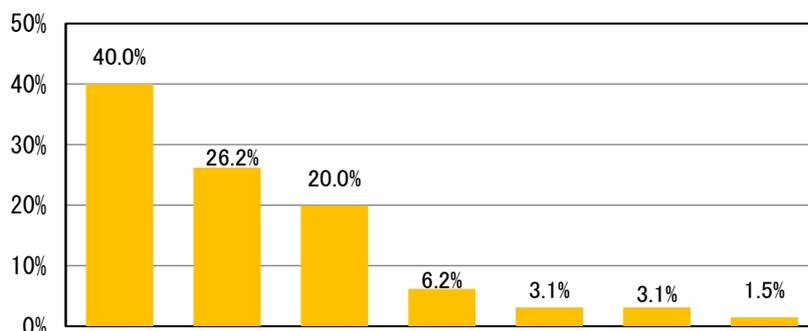


		全体 (n)	利用した (A)	利用しない (B)	無回答
全体		474	47	422	5
			9.9%	89.0%	1.1%
性別	男性	243	7.8%	90.9%	1.2%
	女性	218	12.4%	86.7%	0.9%
	無回答	13	7.7%	92.3%	0.0%
年齢	10歳代	14	14.3%	85.7%	0.0%
	20歳代	40	15.0%	85.0%	0.0%
	30歳代	42	9.5%	90.5%	0.0%
	40歳代	53	5.7%	92.5%	1.9%
	50歳代	67	6.0%	92.5%	1.5%
	60歳代	108	9.3%	90.7%	0.0%
	70歳代	95	8.4%	90.5%	1.1%
	80歳以上	52	19.2%	76.9%	3.8%
	無回答	3	0.0%	100.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	10.7%	88.3%	1.0%
	稲川地域	88	9.1%	90.9%	0.0%
	雄勝地域	62	8.1%	88.7%	3.2%
	皆瀬地域	23	4.3%	95.7%	0.0%
	無回答	3	33.3%	66.7%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■1年以内に公共交通を利用した方(A)の「利用する目的」

- 『通院』と答えた方が全体の4割を占めている。
- 年齢別には、70歳代、80歳以上の約6割の方が『通院』と答えている。

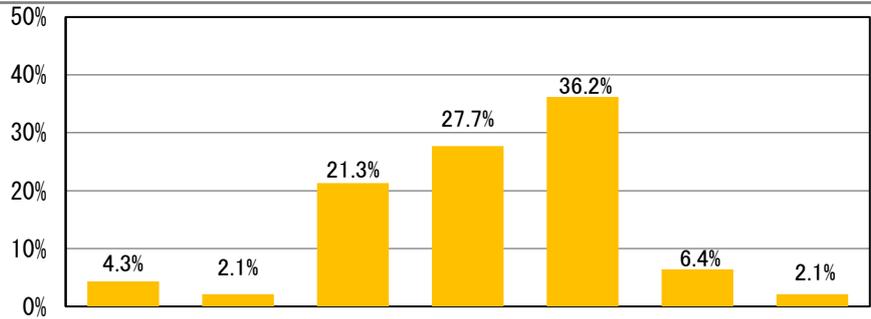


		全体 (A)	総回答数 (MA)	通院	買物	趣味・娯楽	その他	通勤	通学	業務
全体		47	65	26 40.0%	17 26.2%	13 20.0%	4 6.2%	2 3.1%	2 3.1%	1 1.5%
性別	男性	19	25	32.0%	16.0%	32.0%	4.0%	8.0%	4.0%	4.0%
	女性	27	38	44.7%	31.6%	13.2%	7.9%	0.0%	2.6%	0.0%
	無回答	1	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	6	9	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	30歳代	4	5	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	4	5	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	10	13	46.2%	23.1%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳代	8	13	61.5%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
	80歳以上	10	14	57.1%	35.7%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	32	44	43.2%	25.0%	20.5%	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%
	稲川地域	8	13	30.8%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%
	雄勝地域	5	6	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	皆瀬地域	1	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■1年以内に公共交通を利用した方(A)の「路線バスや乗合タクシーの利用頻度」

- 『月1日以下』と答えた方が全体の約4割を占めている。
- 『週3～4日程度』より利用頻度が低い方(『週1～2日程度』『月2～3日程度』『月1日以下』のいずれかを答えた方)が全体の約9割を占めている。

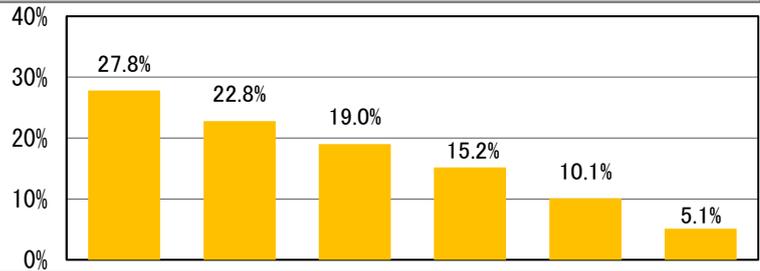


		全体 (A)	週5日 以上	週3～4 日程度	週1～2 日程度	月2～3 日程度	月1日 以下	その他	無回答
全体		47	2 4.3%	1 2.1%	10 21.3%	13 27.7%	17 36.2%	3 6.4%	1 2.1%
性別	男性	19	10.5%	5.3%	15.8%	31.6%	31.6%	0.0%	5.3%
	女性	27	0.0%	0.0%	22.2%	25.9%	40.7%	11.1%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	6	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	40歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	50歳代	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	10	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	40.0%	20.0%	10.0%
	70歳代	8	0.0%	0.0%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	80歳以上	10	0.0%	10.0%	20.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	32	0.0%	3.1%	12.5%	37.5%	40.6%	6.3%	0.0%
	稲川地域	8	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	雄勝地域	5	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	皆瀬地域	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■1年以内に公共交通を利用した方(A)の「路線バスや乗合タクシーを利用する理由」

- 『他に移動手段がないから』と答えた方が全体の約3割で、最も高い割合である。
- 利用する理由として、『利用したい時間帯の運行ダイヤがあるから』と答えた方の割合が約1割であることから、運行ダイヤにやや不満があると考えられる。

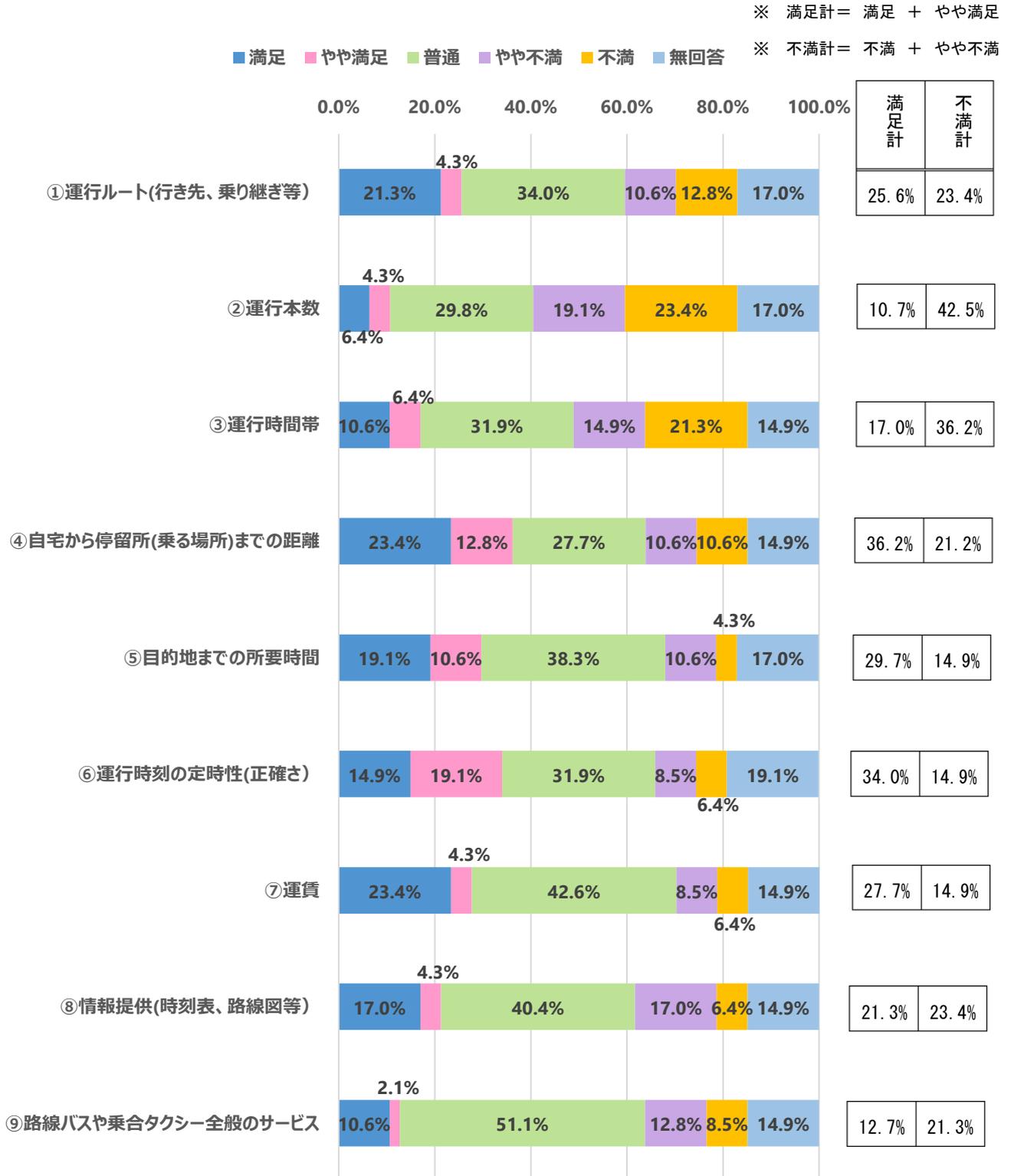


		全体 (A)	総回答数 (MA)	他に移動手段がないから	行きたい場所に運行するから	近くに停留所(乗る場所)があるから	利用しやすい運賃だから	利用したい時間帯の運行ダイヤがあるから	その他
全体		47	79	22 27.8%	18 22.8%	15 19.0%	12 15.2%	8 10.1%	4 5.1%
性別	男性	19	23	43.5%	21.7%	13.0%	8.7%	8.7%	4.3%
	女性	27	50	22.0%	24.0%	22.0%	18.0%	10.0%	4.0%
	無回答	1	6	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
年齢	10歳代	2	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	6	6	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	4	9	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	5	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	4	6	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
	60歳代	10	12	8.3%	8.3%	41.7%	16.7%	16.7%	8.3%
	70歳代	8	22	27.3%	22.7%	18.2%	13.6%	13.6%	4.5%
	80歳以上	10	15	26.7%	26.7%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%
	無回答	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	32	58	27.6%	22.4%	20.7%	15.5%	10.3%	3.4%
	稲川地域	8	13	23.1%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%
	雄勝地域	5	6	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	皆瀬地域	1	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■1年以内に公共交通を利用した方(A)の「路線バスや乗合タクシーの満足度」

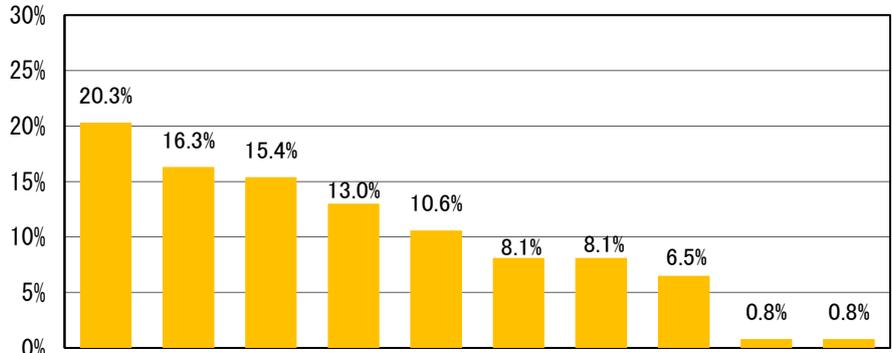
- 運行ダイヤ(『②運行本数』『③運行時間帯』)において、「不満計」の割合が他の項目に比べて高くなっている。
- 『⑦運賃』については、不満はないと答えた方(『満足』『やや満足』『普通』のいずれかを答えた方)が約7割を占めている。



※ A=47

■1年以内に公共交通を利用した方(A)の「路線バスや乗合タクシーについて重要と思う項目」

- 全体では『運行本数』が最も重要視されている。
- 地域別では、稲川地域において特に『運行本数』を重要視している。



		全体 (A)	総回答数 (MA)	運行本数	運行時間帯	運行ルート(行き先、乗り継ぎ等)	自宅から停留所(乗る場所)までの距離	運賃	運行時刻の定時性(正確さ)	情報提供(時刻表、路線図等)	目的地までの所要時間	その他	無回答
全体		47	123	25 20.3%	20 16.3%	19 15.4%	16 13.0%	13 10.6%	10 8.1%	10 8.1%	8 6.5%	1 0.8%	1 0.8%
性別	男性	19	46	19.6%	13.0%	13.0%	13.0%	15.2%	6.5%	10.9%	8.7%	0.0%	0.0%
	女性	27	73	20.5%	17.8%	16.4%	13.7%	8.2%	9.6%	5.5%	5.5%	1.4%	1.4%
	無回答	1	4	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	2	7	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	6	15	20.0%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%
	30歳代	4	20	20.0%	15.0%	15.0%	10.0%	15.0%	0.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	3	6	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	4	8	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	10	14	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
	70歳代	8	26	19.2%	23.1%	19.2%	11.5%	3.8%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%
	80歳以上	10	27	18.5%	11.1%	22.2%	18.5%	7.4%	14.8%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	32	86	18.6%	16.3%	17.4%	14.0%	9.3%	9.3%	7.0%	5.8%	1.2%	1.2%
	稲川地域	8	18	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	雄勝地域	5	11	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	皆瀬地域	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1	8	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%

◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
 ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

5-1-3 路線バスや乗合タクシーの認知状況

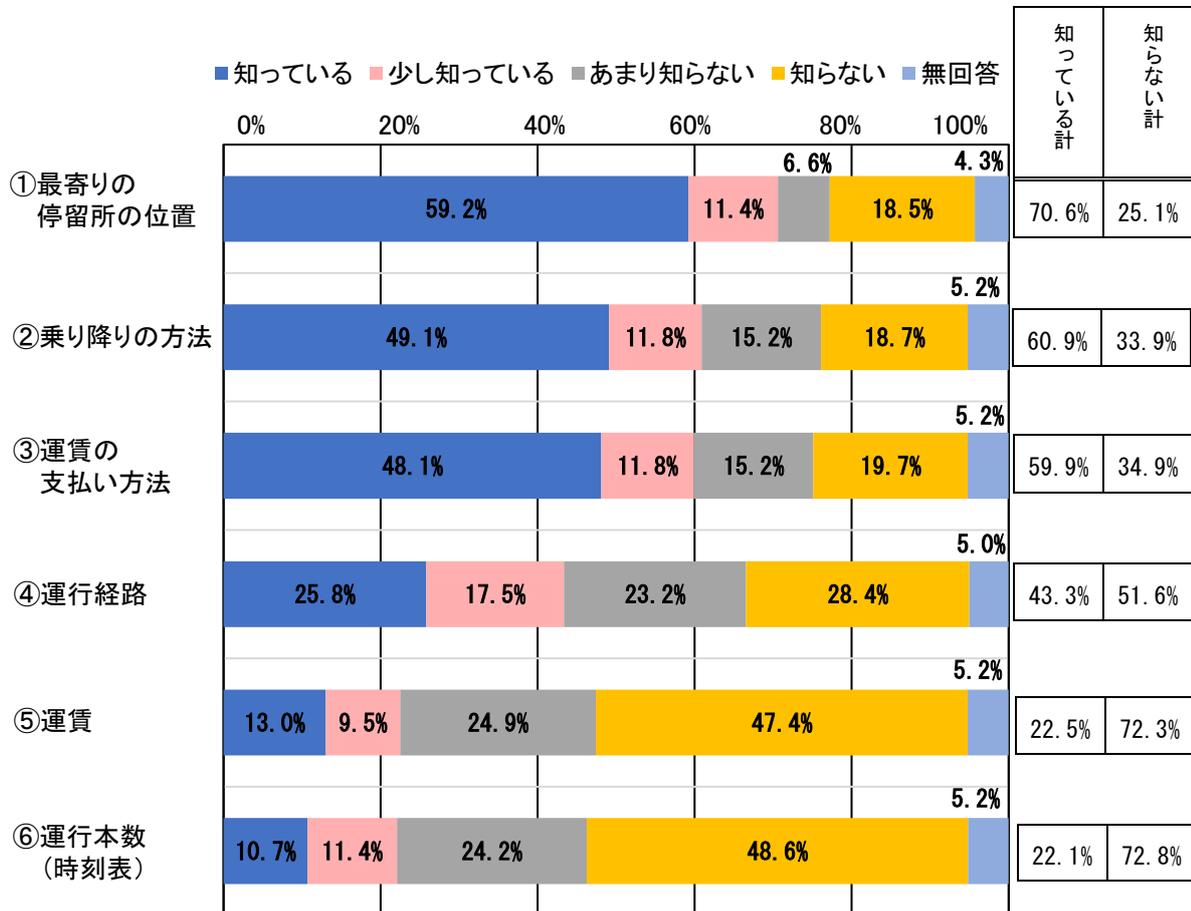
1年以内に公共交通を利用していない方(B)の路線バスや乗合タクシーの認知状況としては、最寄りの停留所の位置や乗り降りの方法、運賃の支払い方法については、約6割が認知しているものの、運行経路や運賃、運行本数についての認知度が低い状況であるため、分かりやすい情報発信が必要です。

路線バスや乗合タクシーを利用しない理由については、他の交通手段で移動している方が全ての年代の約半数以上を占めており、自家用車利用の高さが表れています。

■1年以内に公共交通を利用していない方(B)の「路線バスや乗合タクシーについての認知度」

※ 知っている計 = 知っている + 少し知っている

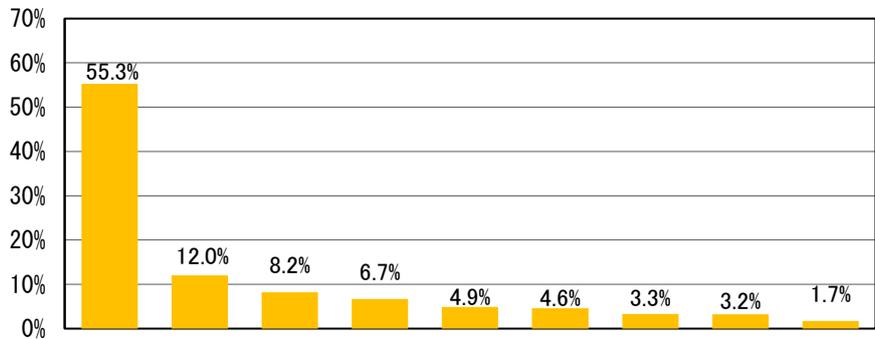
※ 知らない計 = あまり知らない + 知らない



※ B=422

■1年以内に公共交通を利用していない方(B)の「路線バスや乗合タクシー利用をしなかった理由(利用できなかった理由も含む)」

- 『他の交通手段で移動している』と答えた方が全体の約6割を占めている。
- 地域別では、雄勝地域において『他の交通手段で移動している』と答えた方の割合が約7割であり、他地域と比べても高い割合を示している。



		全体 (B)	総 回 答 数 (MA)	他 の 交 通 手 段 で 移 動 し て い る	運 行 本 数 が 少 な い	乗 合 タ ク シ ー の 予 約 、 利 用 方 法 が わ か ら な い	自 宅 や 目 的 地 の 近 く に 停 留 所 が な い	目 的 地 ま で 時 間 が か か る	運 賃 が 高 い	目 的 地 ま で 行 く た め の 情 報 が 足 り な い	乗 り 継 ぎ が 大 変	そ の 他
全体		422	631	349 55.3%	76 12.0%	52 8.2%	42 6.7%	31 4.9%	29 4.6%	21 3.3%	20 3.2%	11 1.7%
性別	男性	221	298	61.4%	11.4%	6.7%	6.0%	5.4%	3.7%	1.7%	1.7%	2.0%
	女性	189	323	49.2%	12.4%	9.6%	7.4%	4.6%	5.6%	5.0%	4.6%	1.5%
	無回答	12	10	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	12	18	55.6%	16.7%	0.0%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	20歳代	34	54	55.6%	16.7%	3.7%	3.7%	7.4%	9.3%	3.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	38	62	53.2%	14.5%	6.5%	6.5%	3.2%	8.1%	3.2%	1.6%	3.2%
	40歳代	49	85	50.6%	12.9%	12.9%	2.4%	2.4%	10.6%	5.9%	2.4%	0.0%
	50歳代	62	94	58.5%	12.8%	4.3%	10.6%	6.4%	3.2%	1.1%	2.1%	1.1%
	60歳代	98	149	59.7%	10.7%	8.1%	4.7%	5.4%	2.7%	2.7%	4.7%	1.3%
	70歳代	86	108	54.6%	8.3%	11.1%	11.1%	3.7%	0.0%	3.7%	3.7%	3.7%
	80歳以上	40	61	49.2%	11.5%	11.5%	6.6%	4.9%	3.3%	4.9%	6.6%	1.6%
	無回答	3	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	263	395	56.7%	10.9%	8.6%	6.1%	5.6%	3.0%	4.8%	2.5%	1.8%
	稲川地域	80	127	48.0%	14.2%	7.9%	11.0%	2.4%	10.2%	1.6%	3.1%	1.6%
	雄勝地域	55	67	67.2%	10.4%	7.5%	1.5%	4.5%	4.5%	0.0%	1.5%	3.0%
	皆瀬地域	22	42	45.2%	19.0%	7.1%	7.1%	7.1%	2.4%	0.0%	11.9%	0.0%
	無回答	2	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

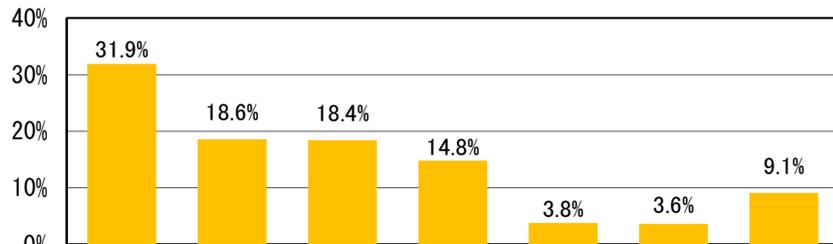
◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)

◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

5-1-4 今後の公共交通に対する市の予算の使い方について

市の予算の使い方について稲川地域、雄勝地域から、今以上に市の予算を増やしてサービスを充実させるべきとの意見があるものの、現状並みの予算で継続させるべきという意見も多くを占めており、公共交通を将来にわたって維持していくため、運行経費の費用対効果を検証しつつ効率的な運行が必要です。

■今後の市の予算の使い方について



		全体 (n)	継続 現状並みの 予算で	わ か ら な い	サ ー ビ ス を 増 や し て 予 算 を 増 や し て	市 の 負 担 を 減 ら す	利 用 者 の み の 負 担 で 継 続	そ の 他	無 回 答
全体		474	151 31.9%	88 18.6%	87 18.4%	70 14.8%	18 3.8%	17 3.6%	43 9.1%
性別	男性	243	32.9%	16.5%	20.2%	15.2%	4.5%	2.5%	8.2%
	女性	218	31.2%	22.0%	16.1%	14.7%	3.2%	4.6%	8.3%
	無回答	13	23.1%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	7.7%	38.5%
年齢	10歳代	14	50.0%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%
	20歳代	40	32.5%	15.0%	22.5%	17.5%	5.0%	2.5%	5.0%
	30歳代	42	23.8%	23.8%	28.6%	16.7%	2.4%	0.0%	4.8%
	40歳代	53	34.0%	17.0%	13.2%	15.1%	1.9%	13.2%	5.7%
	50歳代	67	35.8%	16.4%	20.9%	11.9%	3.0%	6.0%	6.0%
	60歳代	108	33.3%	16.7%	19.4%	14.8%	6.5%	1.9%	7.4%
	70歳代	95	27.4%	27.4%	12.6%	15.8%	3.2%	2.1%	11.6%
	80歳以上	52	30.8%	13.5%	17.3%	9.6%	3.8%	1.9%	23.1%
	無回答	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	湯沢地域	298	31.9%	19.5%	15.8%	15.1%	3.7%	4.0%	10.1%
	稲川地域	88	29.5%	22.7%	20.5%	15.9%	3.4%	1.1%	6.8%
	雄勝地域	62	24.2%	12.9%	29.0%	12.9%	6.5%	4.8%	9.7%
	皆瀬地域	23	60.9%	8.7%	13.0%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%
	無回答	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

5-2 乗合タクシー利用者アンケート

《調査概要》

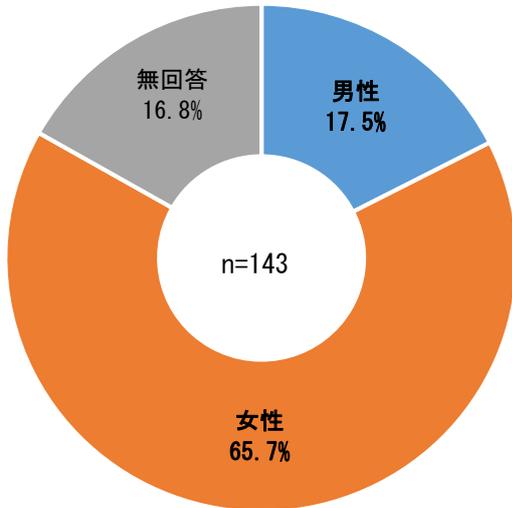
項目	概要
調査対象	乗合タクシーを利用している実利用者749人の中から、300人（40.1%）を対象として実施
調査方法	郵送または手渡しによる配布及び回収
調査期日	令和元年8月9日（金）～ 令和元年8月23日（金）
回収率	47.7% （143件）

《集計結果の端数処理等》

- ・ 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積み上げたパーセントの合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- ・ 回答比率の分母となる回答者数は、「n」として掲載しています。
- ・ 複数回答の場合は、回答総数を「MA」として掲載しています。

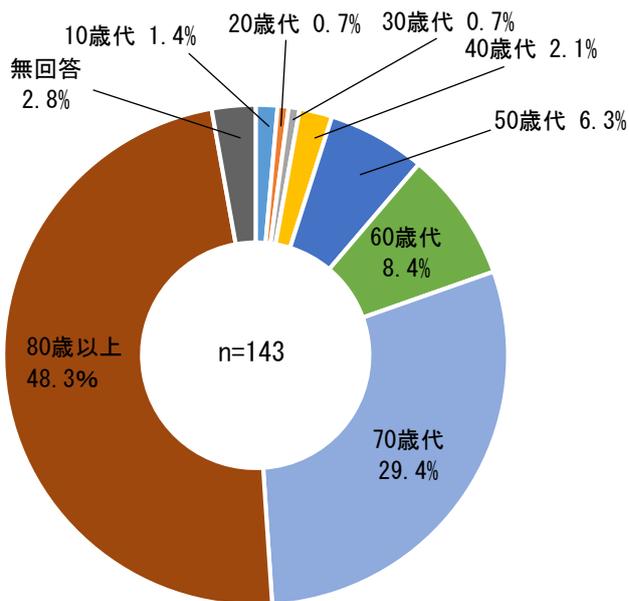
《回答者の属性》

■回答者の性別



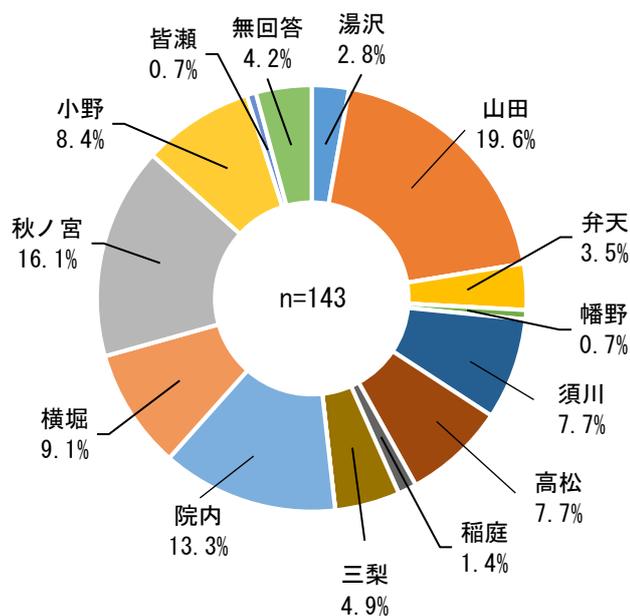
内容	回答数	割合
男性	25	17.5%
女性	94	65.7%
無回答	24	16.8%
全体	143	100%

■回答者の年齢



内容	回答数	割合
10歳代	2	1.4%
20歳代	1	0.7%
30歳代	1	0.7%
40歳代	3	2.1%
50歳代	9	6.3%
60歳代	12	8.4%
70歳代	42	29.4%
80歳以上	69	48.3%
無回答	4	2.8%
全体	143	100%

■回答者の居住地区



地区名	回答数	割合
湯沢	4	2.8%
山田	28	19.6%
三関	0	0.0%
弁天	5	3.5%
岩崎	0	0.0%
幡野	1	0.7%
須川	11	7.7%
高松	11	7.7%
稲庭	2	1.4%
三梨	7	4.9%
川連	0	0.0%
駒形	0	0.0%
院内	19	13.3%
横堀	13	9.1%
秋ノ宮	23	16.1%
小野	12	8.4%
皆瀬	1	0.7%
無回答	6	4.2%
全体	143	100%

※地域別集計

地域名	回答数	割合
湯沢地域	60	42.0%
稲川地域	9	6.3%
雄勝地域	67	46.9%
皆瀬地域	1	0.7%
無回答	6	4.2%
全体	143	100%

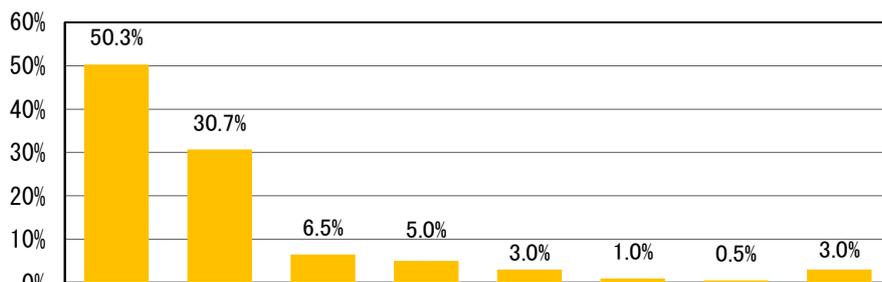
- ・ 湯沢地域 内訳
湯沢、山田、三関、弁天、岩崎、幡野、
須川、高松
- ・ 稲川地域 内訳
稲庭、三梨、川連、駒形
- ・ 雄勝地域 内訳
院内、横堀、秋ノ宮、小野
- ・ 皆瀬地域 内訳
皆瀬

5-2-1 乗合タクシーの利用状況

乗合タクシーは雄勝地域、山田地区で多く利用されており、70歳以上が利用者の大半を占めています。主に通院や買物に行く手段として利用され、移動手段を持たない方などの生活を支えています。

■乗合タクシーの利用目的

- 『通院』と答えた方が全体の約5割を占めている。
- 年齢別では、80歳以上において『通院』と答えた方が約6割と高い割合を示している。

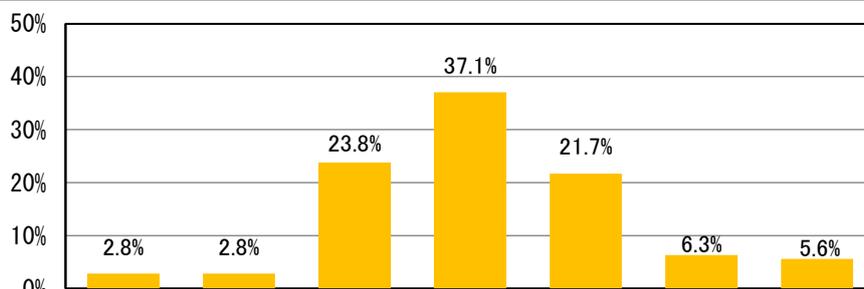


		全体 (n)	総 回答 数 (MA)	通 院	買 物	趣 味・ 娯 楽	そ 他	通 勤	通 学	業 務	無 回 答
全体		143	199	100 50.3%	61 30.7%	13 6.5%	10 5.0%	6 3.0%	2 1.0%	1 0.5%	6 3.0%
性別	男性	25	34	38.2%	35.3%	8.8%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
	女性	94	131	53.4%	29.8%	6.1%	4.6%	3.1%	0.8%	0.0%	2.3%
	無回答	24	34	50.0%	29.4%	5.9%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	5.9%
年齢	10歳代	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	20歳代	1	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	1	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	5	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	9	13	30.8%	46.2%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	12	17	29.4%	41.2%	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳代	42	63	47.6%	36.5%	7.9%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	3.2%
	80歳以上	69	92	60.9%	23.9%	6.5%	4.3%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%
	無回答	4	4	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
地域	湯沢地域	60	84	53.6%	33.3%	2.4%	6.0%	2.4%	1.2%	0.0%	1.2%
	稲川地域	9	12	33.3%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雄勝地域	67	95	51.6%	28.4%	8.4%	4.2%	2.1%	1.1%	1.1%	3.2%
	皆瀬地域	1	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	6	6	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■乗合タクシーの利用頻度

- 『月2～3日程度』と答えた方が全体の約4割を占めている。
- 『週3～4日程度』より利用頻度が低い方(『週1～2日程度』『月2～3日程度』『月1日以下』のいずれかを答えた方)が全体の約8割を占めている。

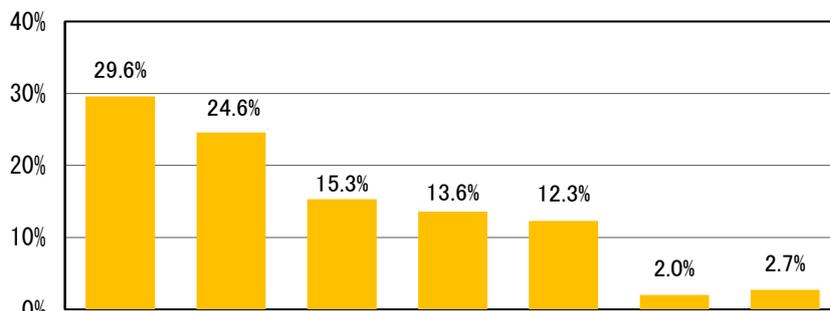


		全体 (n)	週5日 以上	週3～4 日程度	週1～2 日程度	月2～3 日程度	月1日 以下	その他	無回答
全体		143	4	4	34	53	31	9	8
			2.8%	2.8%	23.8%	37.1%	21.7%	6.3%	5.6%
性別	男性	25	4.0%	4.0%	40.0%	28.0%	16.0%	0.0%	8.0%
	女性	94	3.2%	2.1%	22.3%	39.4%	22.3%	7.4%	3.2%
	無回答	24	0.0%	4.2%	12.5%	37.5%	25.0%	8.3%	12.5%
年齢	10歳代	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	9	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%
	60歳代	12	8.3%	8.3%	50.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%
	70歳代	42	2.4%	2.4%	26.2%	40.5%	16.7%	9.5%	2.4%
	80歳以上	69	1.4%	2.9%	18.8%	40.6%	23.2%	4.3%	8.7%
	無回答	4	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
地域	湯沢地域	60	3.3%	1.7%	23.3%	31.7%	25.0%	8.3%	6.7%
	稲川地域	9	0.0%	0.0%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
	雄勝地域	67	0.0%	4.5%	22.4%	43.3%	20.9%	6.0%	3.0%
	皆瀬地域	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	6	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■乗合タクシーを利用する理由

- 『他に移動手段がないから』と答えた方が全体の約3割で最も高い割合を示している。年齢別には、50歳代で約4割となっている。



		全体 (n)	総回答数 (MA)	他に移動手段がないから	利用しやすい運賃だから	行きたい場所に運行するから	近くに停留所(乗る場所)があるから	利用したい時間帯の運行ダイヤがあるから	その他	無回答
全体		143	301	89 29.6%	74 24.6%	46 15.3%	41 13.6%	37 12.3%	6 2.0%	8 2.7%
性別	男性	25	43	37.2%	20.9%	11.6%	14.0%	14.0%	2.3%	0.0%
	女性	94	211	28.0%	26.1%	15.6%	13.3%	12.3%	1.9%	2.8%
	無回答	24	47	29.8%	21.3%	17.0%	14.9%	10.6%	2.1%	4.3%
年齢	10歳代	2	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	1	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	1	4	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	6	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	9	16	43.8%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%
	60歳代	12	25	36.0%	28.0%	12.0%	4.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	70歳代	42	101	26.7%	22.8%	17.8%	15.8%	12.9%	1.0%	3.0%
	80歳以上	69	134	29.1%	26.9%	14.9%	12.7%	11.2%	3.0%	2.2%
	無回答	4	10	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%
地域	湯沢地域	60	120	29.2%	23.3%	12.5%	15.0%	15.0%	1.7%	3.3%
	稲川地域	9	24	20.8%	29.2%	25.0%	8.3%	12.5%	4.2%	0.0%
	雄勝地域	67	143	31.5%	25.2%	16.1%	12.6%	10.5%	2.1%	2.1%
	皆瀬地域	1	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	6	13	23.1%	23.1%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	7.7%

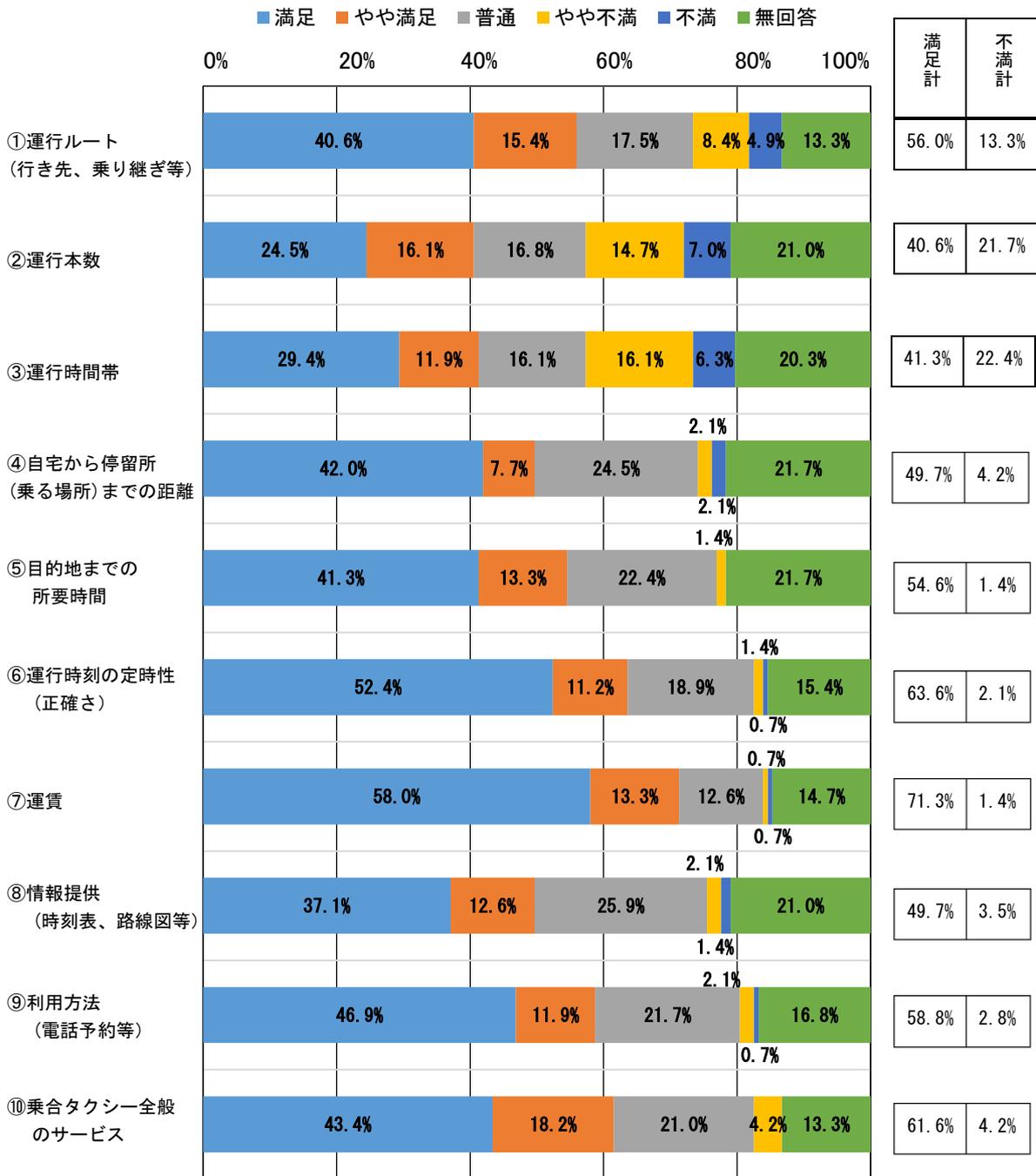
- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■乗合タクシーについての満足度

- 運行ダイヤ（『②運行本数』『③運行時間帯』）において、「不満計」の割合が他項目に比べて高くなっている。
- 『⑦運賃』については、「満足計」が約7割であり他項目に比べて高い満足度を示している。
- 『⑨利用方法』については、不満に感じている方は極僅かであり、全体として約6割の方が満足と感じている（「満足」「やや満足」のいずれかを答えている）ため、良好であると考えられる。
- 『⑩乗合タクシー全般のサービス』においても「満足計」が約6割であり、比較的良好な満足度であると考えられる。

※ 満足計 = 満足 + やや満足

※ 不満計 = やや不満 + 不満

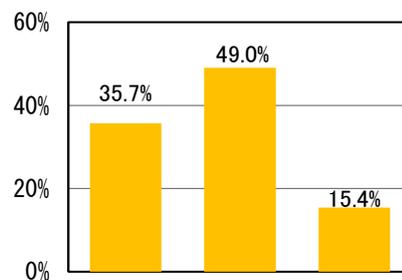


5-2-2 乗合タクシーの利用ニーズ

利用者の約5割が「今のままで良い」と回答しているものの、経路の拡充や運行本数の増加を要望する意見が挙がっており、利便性の向上に向けて検討を進める必要があります。

■乗合タクシーについての要望(運行経路について)

- 『今のままで良い』と答えた方が全体の約5割を占めている。
- 70歳代の約5割の方は『広げてほしい』と答えている。

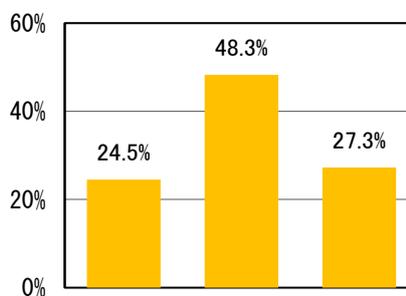


		全体 (n)	広げてほしい	今のままで良い	無回答
全体		143	51 35.7%	70 49.0%	22 15.4%
性別	男性	25	28.0%	64.0%	8.0%
	女性	94	39.4%	46.8%	13.8%
	無回答	24	29.2%	41.7%	29.2%
年齢	10歳代	2	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%
	40歳代	3	33.3%	66.7%	0.0%
	50歳代	9	33.3%	66.7%	0.0%
	60歳代	12	41.7%	50.0%	8.3%
	70歳代	42	45.2%	35.7%	19.0%
	80歳以上	69	31.9%	50.7%	17.4%
	無回答	4	25.0%	50.0%	25.0%
地域	湯沢地域	60	36.7%	43.3%	20.0%
	稲川地域	9	44.4%	55.6%	0.0%
	雄勝地域	67	37.3%	47.8%	14.9%
	皆瀬地域	1	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	6	0.0%	100.0%	0.0%

- ◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
- ◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

■乗合タクシーについての要望(運行本数について)

➤ 『今のままで良い』と答えた方が全体の約5割を占めている。



		全体 (n)	増やしてほしい	今のままで良い	無回答
全体		143	35 24.5%	69 48.3%	39 27.3%
性別	男性	25	24.0%	56.0%	20.0%
	女性	94	23.4%	48.9%	27.7%
	無回答	24	29.2%	37.5%	33.3%
年齢	10歳代	2	50.0%	50.0%	0.0%
	20歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%
	40歳代	3	66.7%	0.0%	33.3%
	50歳代	9	11.1%	66.7%	22.2%
	60歳代	12	41.7%	50.0%	8.3%
	70歳代	42	23.8%	35.7%	40.5%
	80歳以上	69	23.2%	50.7%	26.1%
	無回答	4	0.0%	100.0%	0.0%
地域	湯沢地域	60	26.7%	46.7%	26.7%
	稲川地域	9	22.2%	55.6%	22.2%
	雄勝地域	67	25.4%	46.3%	28.4%
	皆瀬地域	1	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答	6	0.0%	66.7%	33.3%

◆全体比 10pt 以上高い場合はオレンジ、低い場合は青で表記しています。(無回答以外)
◆回答者5人以下の場合は参考値としています。

第2次湯沢市地域公共交通網形成計画

発行 秋田県 湯沢市
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
TEL 0183-73-2111
FAX 0183-73-2117
<http://www.city-yuzawa.jp>
